

# 平成17年度 第2回福岡空港調査連絡調整会議

## 配付資料一覧

次第

配席図

出席者名簿

資料1

福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)について

資料2

福岡空港の総合的な調査 平成18年度の調査の概要(案)

平成17年度 第2回福岡空港調査連絡調整会議  
次 第

日時 平成17年12月1日(木)  
16:00～17:00  
場所 ホテルレガロ福岡  
3階 レガロホール

1 開 会

2 議 事

(1) 福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)について

(2) 平成18年度の調査の概要(案)について

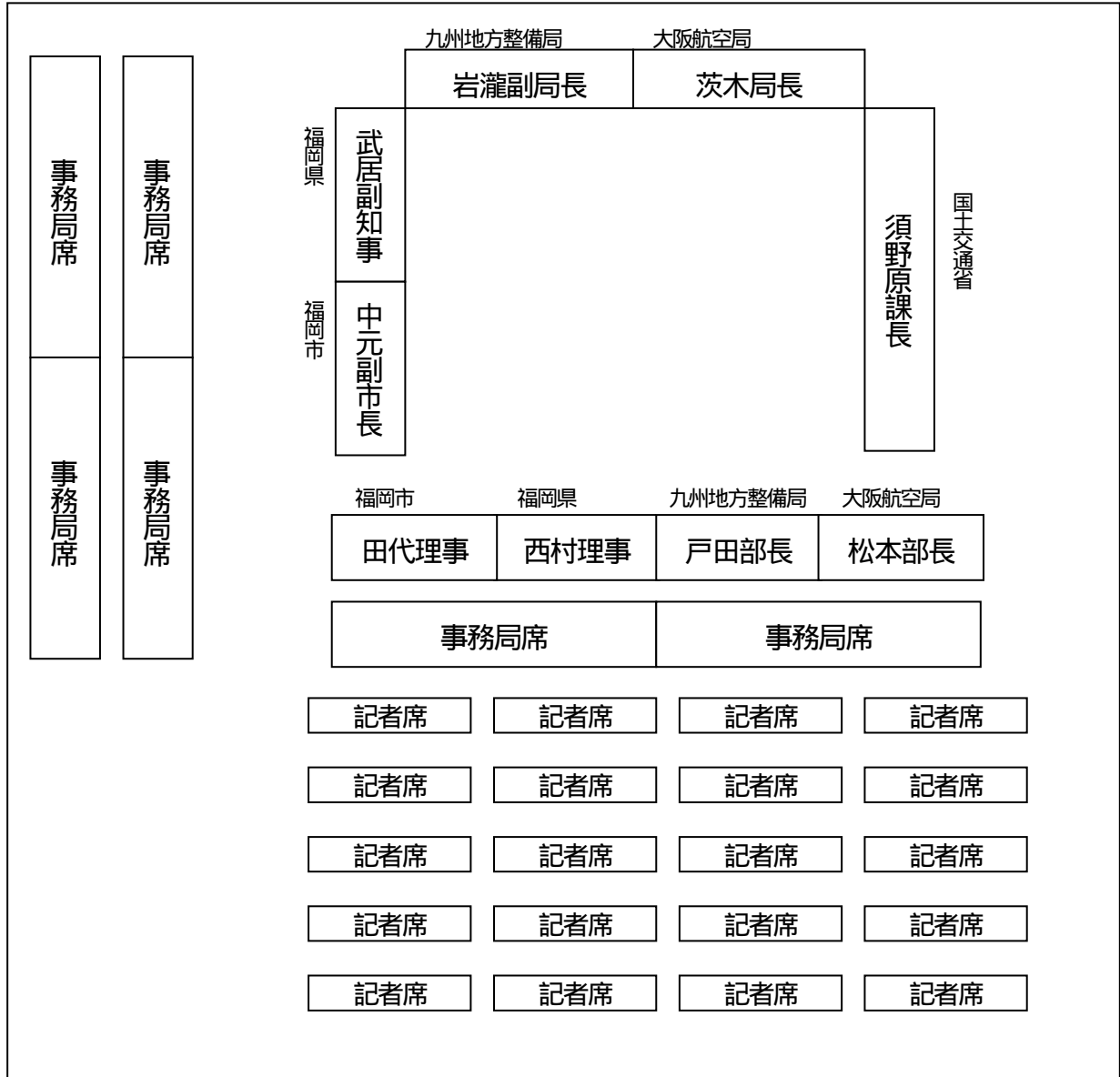
(3) その他

3 閉 会

# 平成17年度 第2回福岡空港調査連絡調整会議 配席図

日時 平成17年12月1日(木) 16:00~

場所 ホテルレガロ福岡 3階 レガロホール



入口

# 平成17年度 第2回福岡空港調査連絡調整会議

## 出席者名簿

### ・ 構成員

国土交通省九州地方整備局長

みやた としたか  
宮田 年耕

(代理出席 九州地方整備局副局長

いわたき きよはる  
岩瀧 清治)

国土交通省大阪航空局長

いばらき やすお  
茨木 康男

福岡県副知事

たけい たけじ  
武居 丈二

福岡市副市長

なかもと ひろとし  
中元 弘利

### ・ 幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長

とだ かずひこ  
戸田 和彦

国土交通省大阪航空局飛行場部長

まつもと せいじ  
松本 清次

福岡県企画振興部理事兼空港対策局長

にしむら のりあき  
西村 典明

福岡市総務企画局理事

たしろ まさのり  
田代 政範

### ・ 国土交通省航空局飛行場部からの参加

国土交通省航空局飛行場部計画課長

すのほら ゆたか  
須野原 豊

## 福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 1) について

標記については、本年 7 月 25 日から開始し、10 月 31 日をもって実施報告書(別添 1)をとりまとめ、11 月 16 日福岡空港調査 P I 有識者委員会(以後「有識者委員会」という)に提出した。

有識者委員会により、同実施報告書についての評価が行われ、「福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 1) の実施結果に関する評価等について」(別添 2)により、P I の目標を達成したとの評価をいただいたことから、福岡空港調査連絡調整会議としては、P I (ステップ 1) を終了することとする。

なお、有識者委員会の助言については、次回以降の P I において検討していくこととする。

- 1 P I (ステップ 1) 実施報告書(本編)  
別添 1 参照
  
- 2 有識者委員会の「福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 1) の実施結果に関する評価等について」  
別添 2 参照

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 1 )  
実施報告書

平成 17 年 11 月

福岡空港調査連絡調整会議

## はじめに

福岡空港については、国、福岡県、福岡市が連携・協力して平成 15 年度から将来の混雑問題等への対応策を検討する「総合的な調査」を実施しております。

この調査にあたっては、基本的なところから段階を踏んで検討を進めることとしており、検討のステップに対応して情報提供とそれに対する意見収集を行うパブリック・インボルブメント（以下「P I」と略す）を実施しております。この最初のステップとして「福岡空港の現状と課題」や「空港能力の見極め」についての情報を提供し、ご意見を募集する福岡空港の総合的な調査に係る P I（ステップ 1）を平成 17 年 7 月 25 日から実施し、1,400 人を超える方から約 3,000 件のご意見が寄せられました。

その後、寄せられたご意見を集約し、ご意見に対する P I 実施主体の考え方とあわせてとりまとめ、平成 17 年 10 月 14 日に公表し、平成 17 年 10 月 27 日までの間、『「福岡空港の総合的な調査に係る P I（ステップ 1）に寄せられたご意見と考え方」に係る意見募集（パブリック・コメント）』を実施し、49 人の方からご意見が寄せられました。

本報告書は、福岡空港の総合的な調査に係る P I（ステップ 1）活動の実施結果をとりまとめたものです。今後、本報告書を福岡空港調査 P I 有識者委員会に提出し、その内容について評価していただく予定にしております。

# 目次

1 . P I (ステップ1)の活動内容.....	1
(1) 周知広報活動.....	1
(2) P Iレポートに関する情報提供及び意見収集.....	2
2 . 寄せられたご意見.....	3
(1) ご意見を寄せられた方の人数および件数.....	3
(2) ご意見を寄せられた方の属性等.....	3
(3) ご意見に対する考え方.....	9
3 . P I (ステップ1)活動の分析.....	20
(1) P I活動が実施計画の基本方針に則った適切なものであったか.....	20
(2) 当初の目標が達成されたか.....	25
(3) まとめ.....	28



## 1. P I (ステップ1) の活動内容

### (1) 周知広報活動

<p>P I実施計画に基づき、P I活動の開始前および開催期間を通じて、下表のとおり、新聞、ラジオ広告、チラシ、ポスター、行政だより、ニュースレター及びホームページでの周知広報を実施しました。</p> <p>新聞広告、ラジオ広告などメディアを活用した広報では、大手のメディアを網羅的に活用し、新聞については、5紙にのべ6回広告を掲載、ラジオについては、約5週間にわたり広告を放送するなど、広く周知するよう配慮しました。</p> <p>また、チラシについては、福岡空港及び県内主要駅等計20箇所において、約65,000部を街頭配布しました。</p> <p>行政だよりについては、福岡県だより、ふくおか市政だよりの2種類の広報誌を活用し、福岡県だよりについては福岡県内全域、ふくおか市政だよりについては福岡市内全域を対象に全戸配布を実施しました。</p>
---

表1 周知広報活動

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	冊子、チラシ、 ポスター配布数
新聞広告	のべ6回	大手5紙(読売、朝日、毎日、西日本、日経) 全5段広告 6/26~7/13 1回×5紙 5回 1紙、全5段広告 8/15	-
ラジオ広告	のべ78本	大手3局(FM福岡、KBC、RKB)20秒 広告 7/20~8/23 1本/日×25日間×3局 75本 オープンハウス会場からラジオ中継 8/19,8/23,8/26	-
チラシ街頭配布		・県内20箇所(福岡空港および主要駅)街頭配布 ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	約65,000部
ポスター配布		県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布	1,100部
行政だより配布		福岡県だより2005年7月号(2005.7.1発行) ふくおか市政だより2005年7月号(2005.7.1発行)	福岡県だより: 約200万部 市政だより: 約70万部
ニュースレター配布		福岡空港調査連絡調整会議ニュース 配布	520部
ホームページ		6/24~	9,028アクセス (7/25~10/31)

(2) P I レポートに関する情報提供及び意見収集

P I 実施計画に基づき、平成 17 年 7 月 25 日より、福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 1) に関する情報提供及び意見収集を、下表のとおり実施しました。

情報提供として、福岡空港及び県内主要駅等計 20 箇所において、約 20,000 部の P I レポート(ステップ 1) 概要版を街頭配布しました。また、県内市町村、中学校・高等学校・大学等への配布や、福岡空港、福岡県庁及び福岡市役所の 3 箇所にインフォメーションコーナーを設置し、定常的な情報提供を実施し、合計約 50,000 部を配布しました。

意見収集として、説明会、懇談会及びオープンハウスを開催するとともに、要望により、個別説明も実施しました。

表 2 P I レポートに関する情報提供及び意見収集

手法	実施回数実施箇所	実施場所・実施日	参加者または資料配布数
資料配布		・県内 20 箇所(福岡空港および主要駅)街頭配布 ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	約 50,000 部
福岡空港見学会	5 回	第 1 回(8/17) 第 2 回(8/21) 第 3 回(9/4) 第 4 回(9/5) 第 5 回(9/10)	152 人
インフォメーションコーナー	3 箇所	福岡空港(8/17~) 福岡県庁(8/17~) 福岡市役所(8/17~)	4,828 人 (福岡空港、10/31 現在)
ホームページ		6/24~	9,028 アクセス (7/25~10/31)
説明会	5 回	あいれふ(8/18) イイヅカコミュニティセンター(8/22) 北九州国際会議場(8/29) コミセンわじろ(8/30) 石橋文化センター(9/14)	235 人
懇談会	13 回	交通事業者等(9/7 アクロス福岡) 航空関係事業者(9/8 空港ビル) 空港関連事業者(9/8 空港ビル) 利用企業等 第 1 回(9/9 あいれふ) 第 2 回(9/12 天神ビル) 第 3 回(9/12 天神ビル) 第 4 回(9/13 あいれふ) 空港周辺住民等 第 1 回(9/14 地元集会所) 第 2 回(9/16 地元集会所) 第 3 回(9/17 地元集会所) 第 4 回(9/20 空港ビル) 空港周辺自治体(9/9 あいれふ) 市民団体(9/10 アクロス福岡)	227 人
オープンハウス	5 箇所 (2 日/箇所)	天神地下街(8/19~20) J R 小倉駅(8/23~8/24) ダイヤモンドシティ・ルクル(8/26~8/27) 西鉄久留米駅(8/26~8/27) ジャスコ穂波店(9/2~9/3)	1,629 人
経済団体その他個別説明	4 回	9/2 福岡市内 9/13 福岡市内 9/15 福岡市内 9/15 福岡市内	150 人

## 2. 寄せられたご意見

ホームページやP Iレポート概要版の街頭配布、インフォメーションコーナー、福岡空港見学会、説明会、懇談会、オープンハウス等の活動を通じて配布した意見記入用紙により、9月26日午前中までに1,369人の方からご意見が寄せられました。

寄せられたご意見の概要とそれに対するP I実施主体の考え方については、『福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）に寄せられたご意見とそれに対する考え方』としてとりまとめ、10月14日に公表しました。

なお、以下のとりまとめにあたっては、9月26日午後以降に寄せられた意見（57人、104件）を加え、とりまとめております。

(1) ご意見を寄せられた方の人数および件数 : 1,426人(3,115件)

(2) ご意見を寄せられた方の属性等

### 住所

- 福岡県にお住まいの方が1,113人と最も多く、ついで、東京都や神奈川県など福岡空港の旅客の多い地域にお住まいの方が多くなっています。

### 性別

- 男性から7割強、女性から2割強のご意見が寄せられました。

表3 住所

都道府県	回答数
北海道	5
青森県	2
山形県	1
福島県	1
茨城県	5
埼玉県	15
千葉県	29
東京都	67
神奈川県	39
新潟県	3
山梨県	1
長野県	1
岐阜県	1
静岡県	2
愛知県	9
三重県	1
京都府	3
大阪府	18
兵庫県	8
奈良県	1
島根県	3
広島県	1
山口県	32
香川県	1
福岡県	1,113
佐賀県	16
長崎県	5
熊本県	5
大分県	8
宮崎県	2
鹿児島県	4
沖縄県	2
その他	2
無回答	20
計	1,426

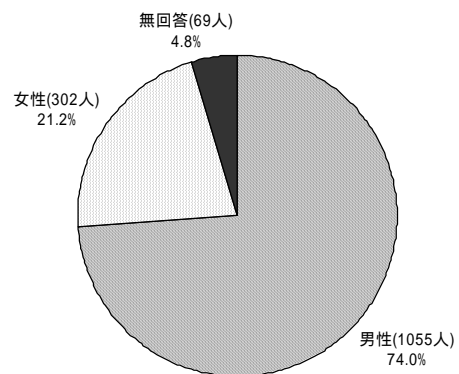


図1 性別

### 年齢

- 50代が26.2%と最も高く、40代から60代の各世代から約2割ずつ、30代から約1.5割のご意見が寄せられました。また、20歳未満、20代、70代以上からも一定の割合でのご意見が寄せられており、幅広い世代からのご意見が寄せられました。

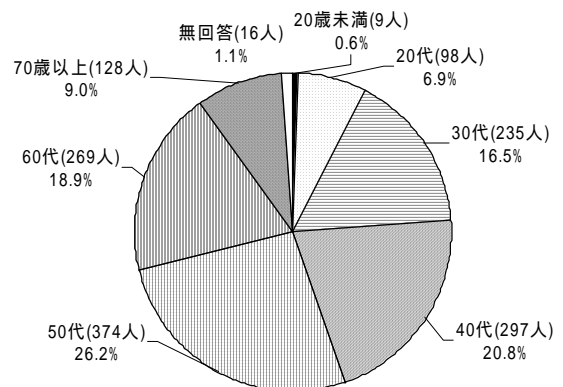


図2 年齢

### 職業

- ・ 会社員、会社役員及び公務員といった比較的空港を利用する方を中心に幅広い層からのご意見が寄せられました。

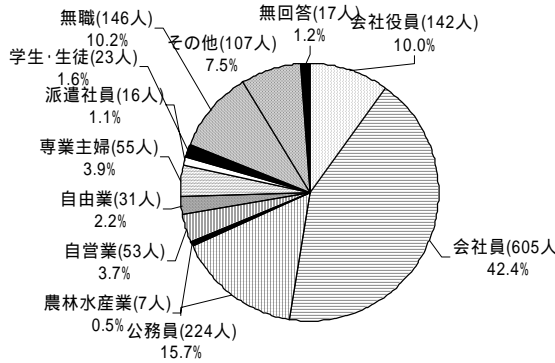


図 3 職業

### 福岡空港からの航空機利用状況

- ・ 年に 15 回未満の方からのご意見で全体の約 8 割を占め、他に航空機を利用していない方から年に 30 回以上利用される方まで幅広い層からのご意見が寄せられました。

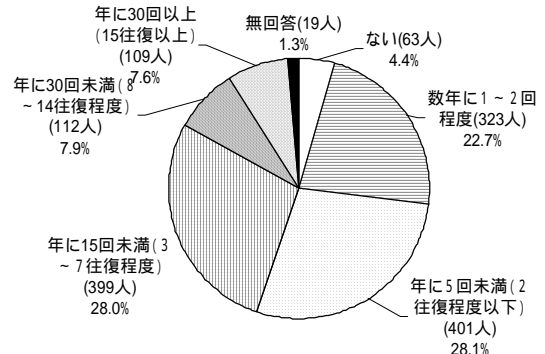


図 4 福岡空港からの航空機利用状況

### ご意見記入用紙各問の回答状況

問 1. 今回の P I (ステップ 1) が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

- ・ 多様なメディアを介して P I について周知されていることがわかります。

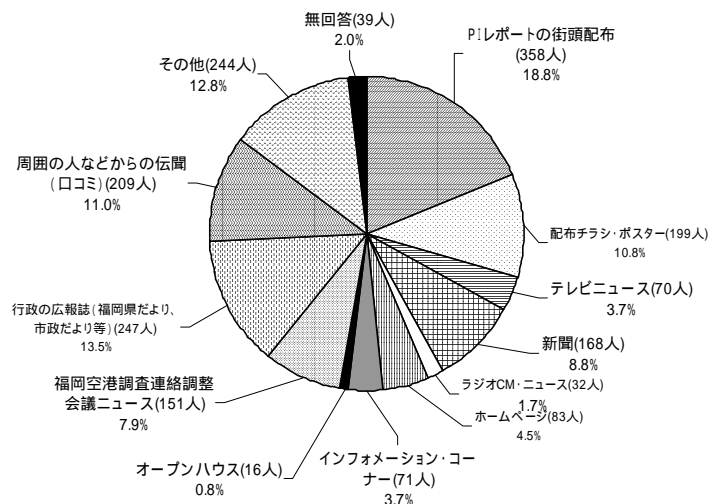


図 5 今回の P I (ステップ 1) が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

どの P I レポートをお読みにになりましたか。

- ・ 概要版を読まれている方が 8 割以上でした。

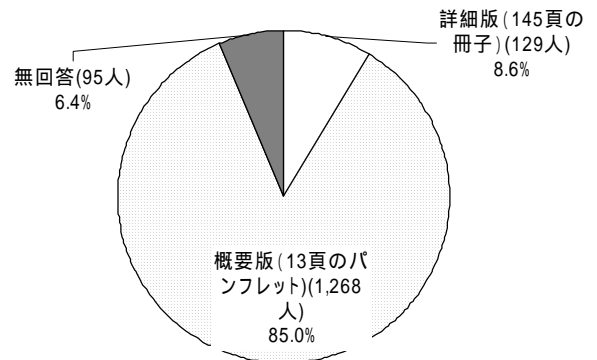


図 6 どの P I レポートをお読みにになりましたか。

PIレポートはわかりやすかったですか。

・ 「わかりやすかった」「普通」を答えた方で全体の8割強を占め、概ね理解しやすい内容であったと考えます。

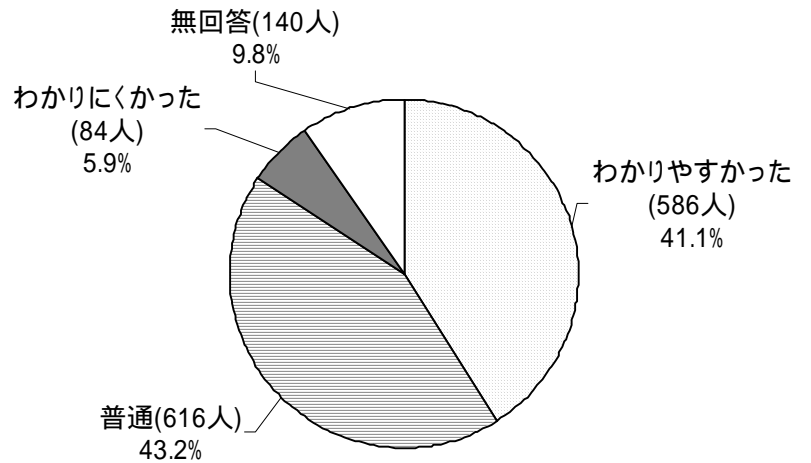


図7 PIレポートはわかりやすかったですか。

参加した催しは何ですか。

・ 約3割の方が催しに参加いただいております、一定の効果が発揮されたと考えます。

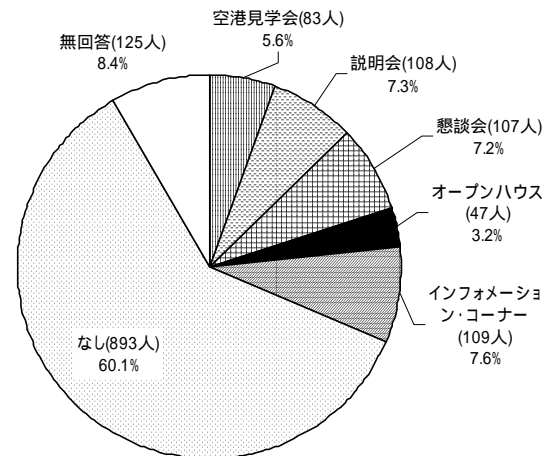


図8 参加した催しは何ですか。

参加した催しの印象はいかがでしたか。  
(催しに参加した経験がある方のみ回答)

・ 「満足」「ほぼ満足」の意見を加えると全体で4割強の方が催しに良い印象をもたれたことがわかります。

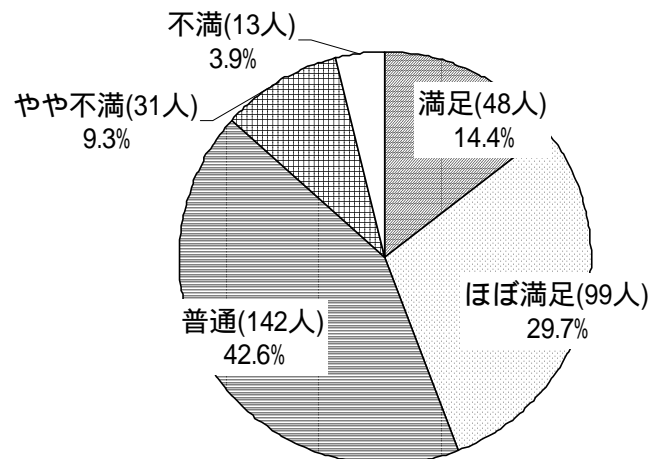


図9 参加した催しの印象はいかがでしたか。

問 3 . P I レポートに記されている福岡空港の現状や課題について、ご存じでしたか？

・ 「余り知らなかった」「全く知らなかった」方が約 4 割を占めており、これらの方へ福岡空港の現状や課題について情報提供することができたと考えます。

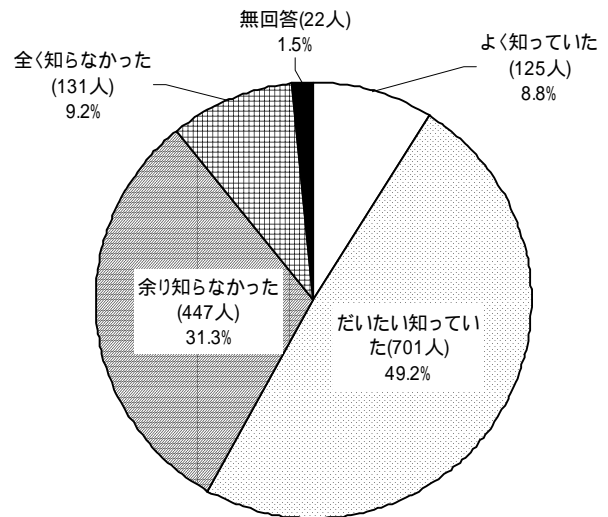


図 10 P I レポートに記されている福岡空港の現状や課題について、ご存じでしたか？

問 4 . 今回提供したレポートの内容について、どのように感じましたか？

・ レポートの内容についても「とても興味深かった」「興味深かった」と答えた方が全体の 8 割を超えており、レポートの内容に対する市民の関心が高かったことがわかります。

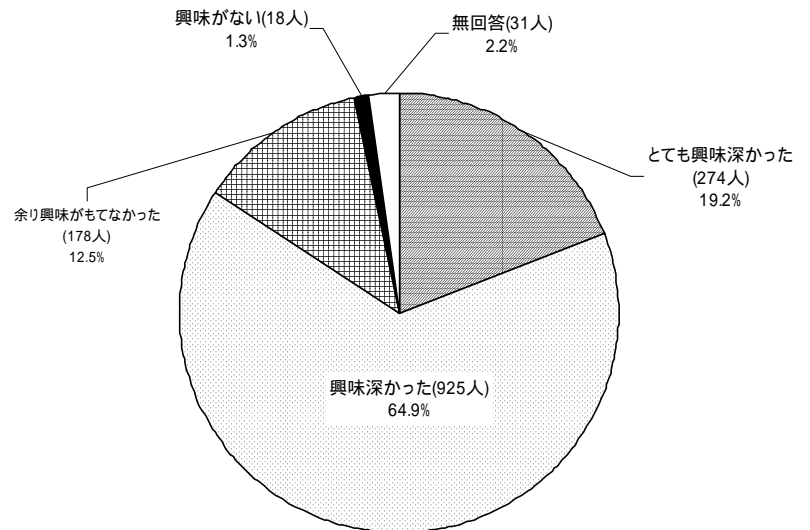


図 11 今回提供したレポートの内容について、どのように感じましたか？

問5 福岡空港の現状と課題について、どう思いますか？

・ご意見を寄せられた方は、1,426人であり、うち「知りたい情報は概ね提供されている」との回答は743人(52.1%)と5割を超えました。一方で、「もっと知りたい情報がある」との回答は385人(27.0%)でした。

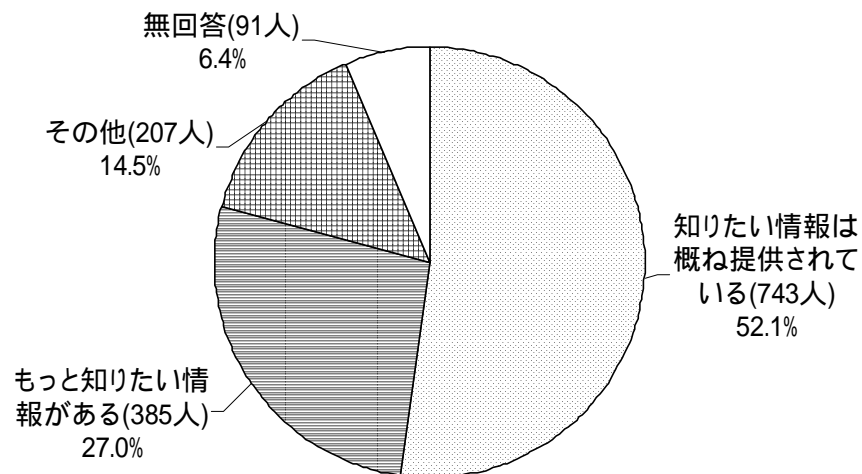


図 12 福岡空港の現状と課題について、どう思いますか？

問6 空港能力の見極めについて、どう思いますか？

・ご意見を寄せられた方は1,426人であり、うち「知りたい情報は概ね提供されている」との回答は742人(52.0%)と5割を超えました。一方で「もっと知りたい情報がある」との回答は339人(23.8%)でした。

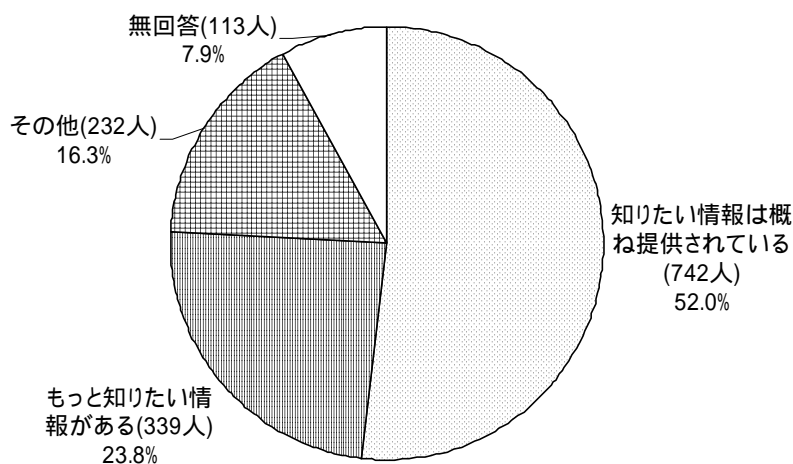


図 13 空港能力の見極めについて、どう思いますか？

## 記述意見等について

問 5「福岡空港の現状と課題についてどう思いますか」、問 6「空港能力の見極めについてどう思いますか」及びその他ご意見や感想（意見記入用紙の「その他」及び説明会等での発言により寄せられたご意見）については、複数の内容が含まれているものもあることから、それらの意見については、内容毎に 3,115 件に分解し、同様な意見に整理しました。その結果、以下のとおり 12 項目（「その他」を除く）となりました。

今回のステップ 1 に係る項目は次のとおりです。

- ・ 「空港能力の見極めに関する意見」
- ・ 「福岡空港の有効活用方策に関する意見」
- ・ 「航空機の運航による周辺地域等への安全性に関する意見」
- ・ 「現空港の課題に関する意見（周辺地域への騒音問題、建築物の高さ規制等の都市問題及び空港用地）」
- ・ 「現空港の利便性に関する意見（空港へのアクセス及びターミナルの使いやすさ等）」
- ・ 「福岡空港の国際航空ネットワークに関する意見」
- ・ 「福岡空港の国内航空ネットワークに関する意見」
- ・ 「P I に関する意見」

又、ステップ 2 以降に係る項目は次のとおりです。

- ・ 「現空港での滑走路増設や新空港に関する意見」
- ・ 「近隣空港との連携方策に関する意見」
- ・ 「福岡空港の将来像に関する意見」
- ・ 「将来の航空需要予測に関する意見」

上記項目と「その他」に分類されます。

今回のステップ 1 に係わる項目のうち、「空港能力の見極めに関する意見」が 315 件、「福岡空港の有効活用方策に関する意見」が 263 件、「現空港の課題に関する意見（周辺地域への騒音問題、建築物の高さ規制等の都市問題及び空港用地）」が 210 件、「現空港の利便性に関する意見（空港へのアクセス及びターミナルの使いやすさ等）」が 212 件、「福岡空港の国際航空ネットワークに関する意見」が 151 件、「福岡空港の国内航空ネットワークに関する意見」が 89 件でした。

また、「P I に関する意見」が 395 件、「航空機の運航による周辺地域等への安全性に関する意見」が 262 件、ステップ 2 以降の意見が 1,031 件でした。



### (3) ご意見に対する考え方

分類したご意見の概要及びご意見の概要に対するP I実施主体の考え方は次のとおりです(詳細は表4参照)。

#### ステップ1

##### P Iに関する意見

###### (意見の概要)

P Iの取り組みを評価する意見、P Rの強化や催し充実などへの意見など、肯定的な意見が多く寄せられました。一方、P Iの取り組みやP Iレポートについて偏っているのではないかと意見、レポートがわかりにくいなどの意見、時間管理をしっかりと行うべきとの意見もありました。

###### (意見の概要に対する考え方)

P Iについては、今後とも、皆様の一層の信頼が得られるよう努力して参ります。

##### 空港能力の見極めに関する意見

###### (意見の概要)

運航の定時性への懸念、需給逼迫に伴う安全性への懸念と能力の限界を肯定する意見がある一方で、ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見がありました。また、能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要との意見もありました。

###### (意見の概要に対する考え方)

空港能力の見極めについては、概ねの共通認識が得られたものと考えます。また、空港能力の評価に環境影響の視点を加えることについても今後検討して参ります。なお、安全性についてはその確保が大前提であり、「空港能力の見極め」以前の問題として、今後の検討に反映させて参ります。

##### 福岡空港の有効活用方策に関する意見

###### (意見の概要)

平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見や施設の老朽化に伴う改良を求める意見があったほか、国内、国際ターミナル施設の統合や定期便以外の施設の移転を求める意見もありました。

###### (意見の概要に対する考え方)

現在整備中の誘導路の直線化を進めていくとともに、今後、ターミナル施設のあり方等について検討して参ります。

##### 航空機の運航による周辺地域等への安全性に関する意見

###### (意見の概要)

部品落下、過去の事故を踏まえ、市街地に存在する空港という問題意識から、現空港の安全性に関する懸念・不安の意見や、事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見がありました。

(意見の概要に対する考え方)

安全面について多くの関心が寄せられたことを踏まえ、今後の検討を進めて参ります。

現空港の課題に関する意見(周辺地域への騒音問題、建築物の高さ規制等の都市問題及び空港用地)

(意見の概要)

航空機騒音が生活環境に与える影響の実態の公開、環境対策費と借地料を含めた空港収支の公開を求める意見がありました。また、騒音・安全への不安、土地利用の規制緩和を求める等市街地に存在する空港であることを問題として捉まえた意見もありました。

(意見の概要に対する考え方)

航空機騒音等については、今後とも可能な限り情報公開して参ります。また、これらについて多くの関心が寄せられたことを踏まえ、今後の検討を進めて参ります。

現空港の利便性に関する意見(空港へのアクセス及びターミナルの使いやすさ等)

(意見の概要)

現空港へのアクセスについては高い評価を得ている反面、ターミナルビルの使いやすさについては不満や要望がありました。

(意見の概要に対する考え方)

現空港の利便性については、概ねの共通認識が得られたものと考えます。アクセスの利便性等が重要であることに配慮して今後の検討を進めて参ります。

福岡空港の国際航空ネットワークに関する意見

(意見の概要)

東アジア路線の充実やそれへの期待感への意見がありました。一方で今年秋のハワイ便の減便など、将来の路線転換を懸念する意見もありました。

(意見の概要に対する考え方)

国内外エアラインの路線転換の動向等を踏まえ、今後の検討を進めて参ります。

福岡空港の国内航空ネットワークに関する意見

(意見の概要)

福岡空港が有する福岡都市圏と三大都市圏を結ぶ幹線の機能充実や地方路線の便数等のサービス向上など地域拠点空港としてのネットワーク強化を求める意見がありました。

(意見の概要に対する考え方)

地域拠点空港としての機能を果たせるよう、今後の検討を進めて参ります。

ステップ2以降

現空港での滑走路増設や新空港に関する意見

(意見の概要)

将来の需要増を前提として、現空港での滑走路増設の検討や、現空港の安全性に関する懸

念等から新空港の必要性を求める意見がありました。一方で新空港の必要性に対する疑問の意見もありました。

(意見の概要に対する考え方)

今後、検討して参ります。

近隣空港との連携方策に関する意見

(意見の概要)

佐賀空港の有効活用や、新北九州空港の開港による福岡空港の需給逼迫緩和を尋ねる意見がありました。

(意見の概要に対する考え方)

今後、検討して参ります。

福岡空港の将来像に関する意見

(意見の概要)

今後の地域間交流や国際交流の視点から空港の機能の強化を求める意見や、ハブ空港としての役割を求める意見がある一方、国際線や国内幹線路線の一部を他都市へ移転すべきとの意見もありました。

(意見の概要に対する考え方)

今後の検討にあたって意見を参考とさせていただきます。

将来の航空需要予測に関する意見

(意見の概要)

最近の福岡空港の航空旅客の需要の伸び悩みや我が国の人口減少下のなかでの将来航空需要への懸念がありました。さらに、新幹線等の開通に伴う航空需要の変化などの意見もありました。

(意見の概要に対する考え方)

今後、検討して参ります。

表 4 寄せられたご意見に対する考え方

ステップ の区分	意見		意見に対する考え方
	分類	概要	
ステップ 1	PIに関する意見	395 件	PIの取り組みを評価する意見、PRの強化や催し充実などへの意見など、肯定的な意見が多く寄せられました。一方、PIの取り組みやPIレポートについて偏っているのではないかと、意見、レポートがわかりにくいなどの意見、時間管理をしっかり行うべきとの意見もありました。
		(主な意見の構成)	(主な意見に対する考え方)
		1.PIの取り組みに対する意見	1.福岡空港の総合的な調査に係るPIは、透明性、公正さを確保しながら、幅広く皆様に情報を提供し、それに対する皆様の意見を検討に反映していくことを目的として実施しています。また、福岡空港の総合的な調査の進め方に関しても、審議の過程や調査報告等をホームページで公開するなどしています。
		今後の取り組みに期待する等の意見	PIへの取り組みの評価や取り組みについての広報等への意見を踏まえつつ、今後も工夫し、皆様の期待に応えられるよう、また、適切な時間管理のもと進めて参ります。
		PIの取り組みへの懐疑的な意見	2.PIの催し等については、PIの各ステップの内容に合わせ、多くの皆さんが参加しやすい方法を選定し、各ステップ毎に実施計画としてとりまとめ、公表することとしていますが、今後の実施計画の作成に当たって意見を参考とさせていただきます。
		時間管理に関する意見	3.PIレポートについては、わかりやすさを旨としてとりまとめているますが、内容が広範にわたることからパンフレット版以外にその詳細版を、福岡空港連絡調整会議のホームページ、福岡県、福岡市の情報窓口、福岡空港などのインフォメーションコーナー等でご覧いただくようにしています。今後も、情報が皆様にわかりやすく伝わるよう努力していきたくと考えます。また、今回のPIレポートの内容については、「福岡空港の現状と課題」、「空港能力の見極め」について、客観的な資料、データに基づき、整理、分析しています。このレポートの作成に係る調査報告等についても、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ等で公開しており、内容の取りまとめに関してもオープンに進めています。今後、より一層の皆様の信頼が得られるよう努力して参ります。
		PIの取り組みの広報強化などに関する意見	
		2.PIの催し等に関する意見	
		催しの評価や拡充のための提案などの意見	
		PIを縮小、やめるべきとの意見	
3.PIレポートに対する意見			
興味深いとされるなどの意見			
偏向的ではないかと意見			
わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見			
4.その他			
空港能力の見極めに関する意見	315 件	運航の定時性への懸念、需給逼迫に伴う安全性への懸念と能力の限界を肯定する意見がある一方で、ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見がありました。また、能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要との意見もありました。	
	(主な意見の構成)	(主な意見に対する考え方)	
	1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見	1.今回の情報提供に即した意見が出されており、現空港の空港能力の評価について共通認識が得られたものと考えます。	
	空港能力の限界を肯定		
	需給逼迫に伴う安全性への懸念		
	運航の定時性への懸念		
	2.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見	2.日中や早朝、深夜の時間帯については、実需要がピーク時より低いことや航空利用者の搭乗希望時間帯アンケート結果においても搭乗希望が落ち込んでいる時間帯です。したがって、ピーク時以外の時間帯も含めて物理的に便を能力限界まで設定する考え方は採らず、福岡空港の利用者の利便の確保に配慮しつつ空港能力を検討しました。	
	3.空港能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要とする意見	3.空港能力の評価は、滑走路処理容量及び利用者視点である航空サービス指標を基に評価しています。環境影響の視点を加えることについても今後検討して参ります。なお、安全性についてはその確保が大前提であり、「空港能力の見極め」以前の問題として、今後の検討に反映させて参ります。	
	4.福岡空港の空港能力は現状のままで十分とする意見	4.「将来の航空需要の予測」を踏まえ、現空港の空港能力の限界について検討して参ります。	
	5.現ターミナル施設、貨物施設の処理能力を検討すべきとの意見	5.現空港の処理能力の見極めに当たっては、滑走路処理容量が最も問題となることから、これに焦点をしばって検討しました。将来の施策の検討に際しては、ターミナル施設、貨物施設の処理能力についても検討して参ります。	
	6.海外の空港と比較し、福岡空港の処理容量が少ないとする意見	6.今回お示した福岡空港の処理容量は、福岡空港の現状(ターミナル地区が空港の端部に位置等)を踏まえ、また、利用者ニーズに対応したダイヤ設定にも配慮して、適正に算定されたものと考えます。	
	7.その他		
福岡空港の有効活用方策に関する意見	263 件	平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見や施設の老朽化に伴う改良を求める意見があったほか、国内、国際ターミナル施設の統合や定期便以外の施設の移転を求める意見もありました。	
	(主な意見の構成)	(主な意見に対する考え方)	
	1.空港敷地の拡張や国内、国際ターミナルの統合化等大規模な改良の検討を求める意見	1.今後、これらの対応策の可能性を検討して参ります。	
	2.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見	2.平行誘導路二重化については、「将来の航空需要の予測」を踏まえ、整備の妥当性、緊急性等について、今後検討して参ります。	
	3.定期便以外の施設の移転を求める意見	3.今後、使用事業者をはじめ関係者の意見も伺いながら検討して参ります。	
	4.費用対効果を問う意見	4.}	
	5.現空港の有効活用方策は投資効果等から不必要とする意見	5.} 費用対効果や投資効果については、今後検討して参ります。	
	6.平行誘導路二重化に伴う安全性を問う意見	6.安全性についてはその確保が大前提であると考えますが、平行誘導路二重化が安全性の低下につながることはないと考えます。	
	7.その他		
航空機の運航による周辺地域等への安全性に関する意見	262 件	部品落下、過去の事故を踏まえ、市街地に存在する空港という問題意識から、現空港の安全性に関する懸念・不安の意見や、事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見がありました。	
	(主な意見の構成)	(主な意見に対する考え方)	
	1.事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見	部品落下、過去の事故事例、現空港が市街地に存在することより、安全面について多くの関心が寄せられたことを踏まえ、今後の検討を進めて参ります。	
	2.安全面に関する懸念・不安を訴える意見		
	3.安全性が最重要であることや安全面の強化を求める意見		
	4.その他		

表4 寄せられたご意見に対する考え方

ステップ の区分	意見		意見に対する考え方	
	分類	件数 概要		
ステップ 1	現空港の課題に関する意見 (周辺地域への騒音問題、建築物の高さ規制等の都市問題及び空港用地)	210 件	航空機騒音が生息環境に与える影響の実態の公開、環境対策費と借地料を含めた空港収支の公開を求める意見がありました。また、騒音・安全への不安、土地利用の規制緩和を求める等市街地に存在する空港であることを問題として捉えられた意見もありました。	航空機騒音の実態、環境対策費・借地料については、今後とも可能な限り情報公開して参ります。 航空機騒音が生息環境に与える影響、環境対策費、借地料等に多くの関心が寄せられたことを踏まえ、今後、「現空港における滑走路増設の検討」、「近隣空港との連携方策の検討」、「新空港の検討」を進めて参ります。  (主な意見に対する考え方) 1. ) 2. ) 3. ) お寄せいただいた意見は、その内容が本調査において対応を検討できるものも一部ありますが、多くは日々の空港管理業務に関連するものです。当該業務への要望として受け止め、可能な限り対応して参ります。
			(主な意見の構成)	
			1.航空機騒音に関する意見	
			環境対策費が多額であることやその情報公開を求める意見	
			生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見	
			騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見	
			2.高さ規制に関する意見	
			高さ規制問題なし・景観上有利であるとする意見	
			高さ規制の緩和を求める意見	
			3.空港用地に関する意見	
借地に関する疑問とその情報公開を求める意見				
空港の収支の公開を求める意見				
4.その他				
現空港の利便性に関する意見(空港へのアクセス及びターミナルの使いやすさ等)	212 件	現空港へのアクセスについては高い評価を得ている反面、ターミナルビルの使いやすさについては不満や要望がありました。	現空港の利便性については、PIレポートの中でも「交通アクセスが便利な空港」とする一方、「ターミナルビルの一部に混雑が生じている」とのとりまめを行っており、概ねの共通認識が得られたものと考えます。空港へのアクセスやターミナルの利便性等が重要であることに配慮して今後の検討を進めて参ります。  (主な意見に対する考え方) 1. 空港へのアクセスの利便性が重要であることに配慮して、今後の検討を進めて参ります。  2. ターミナルビルの使いやすさについて不満や要望があったことに配慮して、今後の検討を進めて参ります。	
		(主な意見の構成)		
		1.空港アクセスに関する意見		
		空港へのアクセスは非常に便利		
		空港移転によるアクセス低下への懸念		
		現空港の国際線へのアクセスや道路事情に不満		
		2.ターミナルビルの使いやすさに関する意見		
		施設の混雑・旅客動線への不満や施設改善要望		
		ビルの分離への不満や集約化の要望		
		3.その他		
福岡空港の国際航空ネットワークに関する意見	151 件	東アジア路線の充実やそれへの期待感への意見がありました。一方で今年秋のハワイ便の減便など、将来の路線転換を懸念する意見もありました。	海外の経済発展方向や国内外エアラインの路線転換の動向、さらには、北部九州地域の都市戦略などを踏まえ、「将来の航空需要の予測」を進めて参ります。	
福岡空港の国内航空ネットワークに関する意見	89 件	福岡空港が有する福岡都市圏と三大都市圏を結ぶ幹線の機能充実や地方路線の便数等のサービス向上など地域拠点空港としてのネットワーク強化を求める意見がありました。	地域拠点空港としての機能を果たせるよう、今後の検討を進めて参ります。	
ステップ 2以降	現空港での滑走路増設や新空港に関する意見	324 件	将来の需要増を前提として、現空港での滑走路増設の検討や、現空港の安全性に関する懸念等から新空港の必要性を求める意見がありました。一方で新空港の必要性に対する疑問の意見もありました。	「現空港における滑走路増設の検討」や「新空港の検討」の中で、その必要性、影響、実現可能性等について検討して参ります。
	近隣空港との連携方策に関する意見	270 件	佐賀空港の有効活用や、新北九州空港の開港による福岡空港の需給逼迫緩和を尋ねる意見がありました。	「近隣空港との連携方策の検討」の中で、その効果等について検討して参ります。
	福岡空港の将来像に関する意見	223 件	今後の地域間交流や国際交流の視点から空港の機能の強化を求める意見や、ハブ空港としての役割を求める意見がある一方、国際線や国内幹線路線の一部を他都市へ移転すべきとの意見もありました。	今後の検討にあたって意見を参考とさせていただきます。
	将来の航空需要予測に関する意見	214 件	最近の福岡空港の航空旅客の需要の伸び悩みや我が国の人口減少下のなかでの将来航空需要への懸念がありました。さらに、新幹線等の開通に伴う航空需要の変化などの意見もありました。	「将来の航空需要の予測」の検討の中で、将来人口や将来の交通ネットワークなどを踏まえ、検討して参ります。
	その他	187 件		
	合計	3,115 件		

参考 - 1 問5「福岡空港の現状と課題」に寄せられたご意見

寄せられた意見数	1,426 人	
知りたい情報は概ね提供されている	743	寄せられた意見数(アンケートを提出いただいた方等)は1,426人、うち本設問で「知りたい情報は概ね提供されている」との回答は743人52%と約半数となっています。また、674人の方から記述意見があり、その意見を1,003件に分類整理しました。その概要は下表のとおりです。
もっと知りたい情報がある	385	
その他	207	
無回答	91	

ステップ の区分	意見		
	分類	件数( 1 )	概要( 2 )
ステップ 1	現空港の課題に関する意見 (周辺地域への騒音問題、建築物の高さ規制等の都市問題及び空港用地)	127 件	航空機騒音が生活環境に与える影響の実態の公開、環境対策費と借地料を含めた空港収支の公開を求める意見がありました。また、騒音・安全への不安、土地利用の規制緩和を求める等市街地に存在する空港であることを問題として捉えた意見もありました。  (主な意見の構成) 1.航空機騒音に関する意見 環境対策費が多額であることやその情報公開を求める意見 51件 生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見 21件 騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見 17件 2.高さ規制に関する意見 高さ規制問題なし・景観上有利であるとする意見 13件 高さ規制の緩和を求める意見 27件 9件 3.空港用地に関する意見 借地に関する疑問とその情報公開を求める意見 37件 28件 空港の収支の公開を求める意見 9件 4.その他 60件 合計 175件
	航空機の運航による周辺地域等への安全性に関する意見	110 件	部品落下、過去の事故を踏まえ、市街地に存在する空港という問題意識から、現空港の安全性に関する懸念・不安の意見や、事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見がありました。  (主な意見の構成) 1.事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見 51件 2.安全面に関する懸念・不安を訴える意見 51件 3.安全性が最重要であることや安全面の強化を求める意見 16件 4.その他 15件 合計 133件
	福岡空港の国際航空ネットワークに関する意見	92 件	東アジア路線の充実やそれへの期待感への意見がありました。一方で今年秋のハワイ便の減便など、将来の路線転換を懸念する意見もありました。
	現空港の利便性に関する意見(空港へのアクセス及びターミナルの使いやすさ等)	93 件	空港へのアクセスについては高い評価を得ている反面、ターミナルビルの使いやすさについては不満や要望がありました。  (主な意見の構成) 1.空港アクセスに関する意見 46件 空港へのアクセスは非常に便利 30件 空港移転によるアクセス低下への懸念 8件 現空港の国際線へのアクセスや道路事情に不満 8件 2.ターミナルビルの使いやすさに関する意見 36件 施設の混雑・旅客動線への不満や施設改善要望 24件 ビルの分離への不満や集約化の要望 12件 3.その他 33件 合計 115件

ステップ の区分	意見																							
	分類	件数( 1)	概要( 2)																					
ステップ 1	空港能力の見極めに関する意見	92 件	<p>運航の定時性への懸念、需給逼迫に伴う安全性への懸念と能力の限界を肯定する意見がある一方で、ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見がありました。また、現ターミナル施設、貨物施設の処理能力に関する意見がありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr><td>1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見</td><td>39件</td></tr> <tr><td>  空港能力の限界を肯定</td><td>27件</td></tr> <tr><td>  運航の定時性への懸念</td><td>10件</td></tr> <tr><td>  需給逼迫に伴う安全性への懸念</td><td>2件</td></tr> <tr><td>2.現ターミナル施設、貨物施設の処理能力を検討すべきとの意見</td><td>11件</td></tr> <tr><td>3.福岡空港の空港能力は現状のまま十分とする意見</td><td>7件</td></tr> <tr><td>4.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見</td><td>2件</td></tr> <tr><td>5.空港能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要とする意見</td><td>2件</td></tr> <tr><td>6.その他</td><td>36件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>97件</td></tr> </table>	1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見	39件	空港能力の限界を肯定	27件	運航の定時性への懸念	10件	需給逼迫に伴う安全性への懸念	2件	2.現ターミナル施設、貨物施設の処理能力を検討すべきとの意見	11件	3.福岡空港の空港能力は現状のまま十分とする意見	7件	4.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見	2件	5.空港能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要とする意見	2件	6.その他	36件	合計	97件	
	1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見	39件																						
	空港能力の限界を肯定	27件																						
	運航の定時性への懸念	10件																						
	需給逼迫に伴う安全性への懸念	2件																						
	2.現ターミナル施設、貨物施設の処理能力を検討すべきとの意見	11件																						
	3.福岡空港の空港能力は現状のまま十分とする意見	7件																						
	4.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見	2件																						
	5.空港能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要とする意見	2件																						
	6.その他	36件																						
合計	97件																							
福岡空港の有効活用方策に関する意見	49 件	<p>平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見や施設の老朽化に伴う改良を求める意見があったほか、ターミナル施設の地下化や定期便以外の施設の移転を求める意見もありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr><td>1.空港敷地の拡張やターミナルの地下化等大規模な改良の検討を求める意見</td><td>18件</td></tr> <tr><td>2.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見</td><td>12件</td></tr> <tr><td>3.定期便以外の施設の移転を求める意見</td><td>5件</td></tr> <tr><td>4.費用対効果を問う意見</td><td>3件</td></tr> <tr><td>5.その他</td><td>14件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>52件</td></tr> </table>	1.空港敷地の拡張やターミナルの地下化等大規模な改良の検討を求める意見	18件	2.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見	12件	3.定期便以外の施設の移転を求める意見	5件	4.費用対効果を問う意見	3件	5.その他	14件	合計	52件										
1.空港敷地の拡張やターミナルの地下化等大規模な改良の検討を求める意見	18件																							
2.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見	12件																							
3.定期便以外の施設の移転を求める意見	5件																							
4.費用対効果を問う意見	3件																							
5.その他	14件																							
合計	52件																							
福岡空港の国内航空ネットワークに関する意見	47 件	福岡空港が有する福岡都市圏と三大都市圏を結ぶ幹線の機能充実や地方路線の便数等のサービス向上など地域拠点空港としてのネットワーク強化を求める意見が多数ありました。																						
PIに関する意見	23 件	<p>PIへの期待やPR強化などPIについて評価するご意見、PIレポートの内容がわかりにくいなどの意見がありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr><td>1.PIの取組に関する意見</td><td>9件</td></tr> <tr><td>  今後の取り組みに期待する等の意見</td><td>3件</td></tr> <tr><td>  PIの取り組みの広報強化などに関する意見</td><td>4件</td></tr> <tr><td>  PIの取り組みへの懐疑的な意見</td><td>2件</td></tr> <tr><td>2.PIの催し等に関する意見</td><td>3件</td></tr> <tr><td>  催しの評価や拡充のための提案などの意見</td><td>3件</td></tr> <tr><td>3.PIレポートに対する意見</td><td>11件</td></tr> <tr><td>  わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見</td><td>7件</td></tr> <tr><td>  偏向的ではないかとの意見</td><td>4件</td></tr> <tr><td>4.その他</td><td>2件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>25件</td></tr> </table>	1.PIの取組に関する意見	9件	今後の取り組みに期待する等の意見	3件	PIの取り組みの広報強化などに関する意見	4件	PIの取り組みへの懐疑的な意見	2件	2.PIの催し等に関する意見	3件	催しの評価や拡充のための提案などの意見	3件	3.PIレポートに対する意見	11件	わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	7件	偏向的ではないかとの意見	4件	4.その他	2件	合計	25件
1.PIの取組に関する意見	9件																							
今後の取り組みに期待する等の意見	3件																							
PIの取り組みの広報強化などに関する意見	4件																							
PIの取り組みへの懐疑的な意見	2件																							
2.PIの催し等に関する意見	3件																							
催しの評価や拡充のための提案などの意見	3件																							
3.PIレポートに対する意見	11件																							
わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	7件																							
偏向的ではないかとの意見	4件																							
4.その他	2件																							
合計	25件																							
近隣空港との連携方策に関する意見	90 件	佐賀空港の有効活用や、新北九州空港の開港による福岡空港の需給逼迫緩和を尋ねる意見がありました。																						
現空港での滑走路増設や新空港に関する意見	82 件	将来の需要増を前提として、現空港での滑走路増設の検討や、現空港の騒音問題等から新空港の必要性を求める意見がありました。一方で滑走路増設に伴う周辺地域への影響や新空港の必要性に対する疑問の意見もありました。																						
将来の航空需要予測に関する意見	68 件	最近の福岡空港の航空旅客の需要の伸び悩みや我が国の人口減少下のなかでの将来航空需要への懸念がありました。さらに、新幹線等の開通に伴う航空需要の変化などの意見もありました。																						
福岡空港の将来像に関する意見	36 件	今後の地域間交流や国際交流の視点から空港の機能の強化を求める意見やハブ空港としての役割を求める意見がある一方、国際線や国内幹線路線の一部を他都市へ移転すべきとの意見もありました。																						
その他	94 件																							
合計	1,003 件																							

1 寄せられた意見を段落ごとに分割した意見の件数

2 1の意見の内容を考慮し主な意見ごとに分類した件数

件数と意見概要欄記載の件数は、1件で複数の項目に意見をしている場合が見られ合計は一致しない。

参考 - 2 問6「空港能力の見極め」に寄せられたご意見

寄せられた意見数	1,426 人	
知りたい情報は概ね提供されている	742	寄せられた意見数(アンケートを提出いただいた方等)は1,426人、うち本設問で「知りたい情報は概ね提供されている」との回答は742人52%と約半数となっています。また、658人の方から記述意見があり、その意見を900件に分類整理しました。その概要は下表のとおりです。
もっと知りたい情報がある	339	
その他	232	
無回答	113	

ステップ の区分	意見																								
	分類	件数( 1)	概要( 2)																						
ステップ 1	空港能力の見極めに関する意見	162 件	<p>運航の定時性への懸念、需給逼迫に伴う安全性への懸念と能力の限界を肯定する意見がある一方で、ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見がありました。また、能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要との意見もありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr> <td>1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見</td> <td>119件</td> </tr> <tr> <td>  空港能力の限界を肯定</td> <td>81件</td> </tr> <tr> <td>  需給逼迫に伴う安全性への懸念</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>  運航の定時性への懸念</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>2.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>3.空港能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要とする意見</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>4.福岡空港の空港能力は現状のままで十分とする意見</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>5.現ターミナル施設、貨物施設の処理能力を検討すべきとの意見</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>6.海外の空港と比較し、福岡空港の処理容量が少ないとする意見</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>7.その他</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>178件</td> </tr> </table>	1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見	119件	空港能力の限界を肯定	81件	需給逼迫に伴う安全性への懸念	29件	運航の定時性への懸念	9件	2.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見	13件	3.空港能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要とする意見	7件	4.福岡空港の空港能力は現状のままで十分とする意見	8件	5.現ターミナル施設、貨物施設の処理能力を検討すべきとの意見	4件	6.海外の空港と比較し、福岡空港の処理容量が少ないとする意見	5件	7.その他	22件	合計	178件
	1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見	119件																							
	空港能力の限界を肯定	81件																							
	需給逼迫に伴う安全性への懸念	29件																							
	運航の定時性への懸念	9件																							
	2.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見	13件																							
	3.空港能力の評価には安全性や環境影響の視点が必要とする意見	7件																							
	4.福岡空港の空港能力は現状のままで十分とする意見	8件																							
	5.現ターミナル施設、貨物施設の処理能力を検討すべきとの意見	4件																							
	6.海外の空港と比較し、福岡空港の処理容量が少ないとする意見	5件																							
7.その他	22件																								
合計	178件																								
福岡空港の有効活用方策に関する意見	155 件	<p>平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見や施設の老朽化に伴う改良を求める意見があったほか、国内、国際ターミナル施設の統合や定期便以外の施設の移転を求める意見もありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr> <td>1.空港敷地の拡張や国内、国際ターミナルの統合化等大規模な改良の検討を求める意見</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>2.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見</td> <td>44件</td> </tr> <tr> <td>3.定期便以外の施設の移転を求める意見</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>4.費用対効果を問う意見</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>5.現空港の有効活用方策は投資効果等から不必要とする意見</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>6.平行誘導路二重化に伴う安全性を問う意見</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>7.その他</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>169件</td> </tr> </table>	1.空港敷地の拡張や国内、国際ターミナルの統合化等大規模な改良の検討を求める意見	70件	2.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見	44件	3.定期便以外の施設の移転を求める意見	17件	4.費用対効果を問う意見	13件	5.現空港の有効活用方策は投資効果等から不必要とする意見	11件	6.平行誘導路二重化に伴う安全性を問う意見	6件	7.その他	8件	合計	169件							
1.空港敷地の拡張や国内、国際ターミナルの統合化等大規模な改良の検討を求める意見	70件																								
2.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見	44件																								
3.定期便以外の施設の移転を求める意見	17件																								
4.費用対効果を問う意見	13件																								
5.現空港の有効活用方策は投資効果等から不必要とする意見	11件																								
6.平行誘導路二重化に伴う安全性を問う意見	6件																								
7.その他	8件																								
合計	169件																								
航空機の運航による周辺地域等への安全性に関する意見	77 件	<p>余裕のない運航に対する不安、有効活用方策(対面交通)についての安全面への懸念を訴える意見や、運航に余裕を持たせるべきとの意見がありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr> <td>1.安全面に関する懸念・不安を訴える意見</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>2.事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>3.安全性が最重要であることや安全面の強化を求める意見</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>4.その他</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97件</td> </tr> </table>	1.安全面に関する懸念・不安を訴える意見	38件	2.事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見	21件	3.安全性が最重要であることや安全面の強化を求める意見	19件	4.その他	19件	合計	97件													
1.安全面に関する懸念・不安を訴える意見	38件																								
2.事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見	21件																								
3.安全性が最重要であることや安全面の強化を求める意見	19件																								
4.その他	19件																								
合計	97件																								
P1に関する意見	34 件	<p>P1レポートの内容について、興味深いとされる意見がある一方、偏っている、わかりにくいなどの意見がありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr> <td>1.P1の取り組みに対する意見</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>  今後の取り組みに期待する等の意見</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>  P1の取り組みへの懐疑的な意見</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>2.P1レポートに対する意見</td> <td>34件</td> </tr> <tr> <td>  わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>  偏向的ではないかとの意見</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>  興味深いとされるなどの意見</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>3.その他</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49件</td> </tr> </table>	1.P1の取り組みに対する意見	8件	今後の取り組みに期待する等の意見	6件	P1の取り組みへの懐疑的な意見	2件	2.P1レポートに対する意見	34件	わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	15件	偏向的ではないかとの意見	13件	興味深いとされるなどの意見	6件	3.その他	7件	合計	49件					
1.P1の取り組みに対する意見	8件																								
今後の取り組みに期待する等の意見	6件																								
P1の取り組みへの懐疑的な意見	2件																								
2.P1レポートに対する意見	34件																								
わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	15件																								
偏向的ではないかとの意見	13件																								
興味深いとされるなどの意見	6件																								
3.その他	7件																								
合計	49件																								



ステップ の区分	意見																								
	分類	件数( 1)	概要( 2)																						
ステップ 1	現空港の利便性に関する意見 (空港へのアクセス及びターミナルの使いやすさ等)	27 件	<p>空港へのアクセスについては高い評価を得ている反面、ターミナルビルの使いやすさについては不満や要望がありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr> <td>1.空港アクセスに関する意見</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>空港へのアクセスは非常に便利</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>2.ターミナルビルの使いやすさに関する意見</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>施設の混雑・旅客動線への不満や施設改善要望</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>3.その他</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33件</td> </tr> </table>	1.空港アクセスに関する意見	2件	空港へのアクセスは非常に便利	2件	2.ターミナルビルの使いやすさに関する意見	8件	施設の混雑・旅客動線への不満や施設改善要望	8件	3.その他	23件	合計	33件										
	1.空港アクセスに関する意見	2件																							
	空港へのアクセスは非常に便利	2件																							
	2.ターミナルビルの使いやすさに関する意見	8件																							
	施設の混雑・旅客動線への不満や施設改善要望	8件																							
	3.その他	23件																							
	合計	33件																							
	現空港の課題に関する意見 (周辺地域への騒音問題、建築物の高さ規制等の都市問題及び空港用地)	26 件	<p>航空機騒音が生活環境に与える影響の実態の公開、環境対策費と借地料を含めた空港収支の公開を求める意見がありました。また、騒音・安全への不安、土地利用の規制緩和を求める等市街地に存在する空港であることを問題として捉えた意見もありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr> <td>1.航空機騒音に関する意見</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>環境への配慮や環境対策の強化を求める意見</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>2.高さ規制に関する意見</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>高さ規制の緩和を求める意見</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>3.空港用地に関する意見</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>借地に関する疑問とその情報公開を求める意見</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>空港の収支の公開を求める意見</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>4.その他</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30件</td> </tr> </table>	1.航空機騒音に関する意見	11件	生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見	5件	騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見	4件	環境への配慮や環境対策の強化を求める意見	2件	2.高さ規制に関する意見	3件	高さ規制の緩和を求める意見	3件	3.空港用地に関する意見	6件	借地に関する疑問とその情報公開を求める意見	3件	空港の収支の公開を求める意見	3件	4.その他	10件	合計	30件
	1.航空機騒音に関する意見	11件																							
	生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見	5件																							
騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見	4件																								
環境への配慮や環境対策の強化を求める意見	2件																								
2.高さ規制に関する意見	3件																								
高さ規制の緩和を求める意見	3件																								
3.空港用地に関する意見	6件																								
借地に関する疑問とその情報公開を求める意見	3件																								
空港の収支の公開を求める意見	3件																								
4.その他	10件																								
合計	30件																								
福岡空港の国際航空ネットワークに関する意見	22 件	東アジア路線の充実やそれへの期待感への意見がありました。一方で今年秋のハワイ便の減便など、将来の路線転換を懸念する意見もありました。																							
福岡空港の国内航空ネットワークに関する意見	10 件	福岡空港が有する福岡都市圏と三大都市圏を結ぶ幹線の機能充実や地方路線の便数等のサービス向上など地域拠点空港としてのネットワーク強化を求める意見がありました。																							
現空港での滑走路増設や新空港に関する意見	114 件	将来の需要増を前提として、現空港での滑走路増設の検討や、現空港の安全性に関する懸念等から新空港の必要性を求める意見がありました。一方で滑走路増設に伴う周辺地域への影響や新空港の必要性に対する疑問の意見もありました。																							
将来の航空需要予測に関する意見	86 件	最近の福岡空港の航空旅客の需要の伸び悩みや我が国の人口減少下のなかでの将来航空需要への懸念がありました。さらに、新幹線等の開通に伴う航空需要の変化などの意見もありました。																							
近隣空港との連携方策に関する意見	86 件	佐賀空港の有効活用や新北九州空港の開港による福岡空港の需給逼迫緩和を尋ねる意見がありました。																							
福岡空港の将来像に関する意見	70 件	海外の空港などで娯楽・遊戯施設等が設置されている例から福岡空港も特徴ある将来像を描くべきとの意見、今後の地域間交流や国際交流の視点から空港の機能の強化を求める意見、ハブ空港としての役割を求める声がある一方、国際線や国内幹線路線の一部を他都市へ移転すべきとの意見もありました。																							
その他	31 件																								
	合計	900 件																							

1 寄せられた意見を段落ごとに分割した意見の件数

2 1の意見の内容を考慮し主な意見ごとに分類した件数

件数と意見概要欄記載の件数は、1件で複数の項目に意見をしている場合が見られ合計は一致しない。

参考 - 3 その他のご意見や感想について

(意見記入用紙の「その他」及び説明会等での発言により寄せられたご意見)

ステップ の区分	意見						
	分類	件数( 1)	概要( 2)				
ステップ 1	P1に関する意見	338 件	P1の取り組みを評価する意見、PRの強化や催し充実などへの意見など、肯定的な意見が多く寄せられました。一方、P1の取り組みやP1レポートについて偏っているのではないかと、レポートがわかりにくいなどの意見、時間管理をしっかり行うべきとの意見もありました。				
			(主な意見の構成)				
			1.P1の取り組みに対する意見	151件			
			今後の取り組みに期待する等の意見	67件			
			P1の取り組みへの懐疑的な意見	19件			
			時間管理に関する意見	15件			
			P1の取り組みの広報強化などに関する意見	50件			
			2.P1の催し等に関する意見	65件			
			催しの評価や拡充のための提案などの意見	61件			
			P1を縮小、やめるべきとの意見	4件			
			3.P1レポートに対する意見	129件			
			興味深いとされるなどの意見	47件			
			偏向的ではないかと意見	39件			
			わかりにくい、また、内容を充実すべき等の意見	43件			
			4.その他	35件			
合計	380件						
ステップ 1	現空港の利便性に関する意見 (空港へのアクセス及びターミナルの使いやすさ等)	92 件	空港へのアクセスについては高い評価を得ている反面、ターミナルビルの使いやすさについては不満や要望がありました。				
			(主な意見の構成)				
			1.空港アクセスに関する意見	46件			
			空港へのアクセスは非常に便利	33件			
			空港移転によるアクセス低下への懸念	8件			
			現空港の国際線へのアクセスや道路事情に不満	5件			
			2.ターミナルの使いやすさに関する意見	25件			
			施設の混雑・旅客動線への不満や施設改善要望	16件			
			ビルの分離への不満や集約化の要望	9件			
			3.その他	43件			
			合計	114件			
			ステップ 1	航空機の運航による周辺地域等への安全性に関する意見	75 件	空港の立地条件に対する安全面への懸念、余裕のない運航に対する不安とともに、安全性が最重要であるとの認識に基づいた意見、安全性の評価を求める意見がありました。また、騒音問題と合わせて空港を移転すべきとの意見がある一方、安全面が利便性に優先するとともに空港移転反対の立場から増便抑制を唱える意見もありました。	
						(主な意見の構成)	
						1.安全面に関する懸念・不安を訴える意見	45件
						2.事故実態の公開や事故事例の分析を求める意見	21件
3.安全性が最重要であることや安全面の強化を求める意見	17件						
4.その他	21件						
合計	104件						

ステップ の区分	意見																							
	分類	件数( 1)	概要( 2)																					
ステップ 1	空港能力の見極めに関する意見	61 件	<p>運航の定時性への懸念、需給逼迫に伴う安全性への懸念と能力の限界を肯定する意見がある一方で、ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見がありました。また、世界の空港との空港能力の比較を行う必要性に関する意見がありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr><td>1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見</td><td>32件</td></tr> <tr><td>  空港能力の限界を肯定</td><td>25件</td></tr> <tr><td>  需給逼迫に伴う安全性への懸念</td><td>4件</td></tr> <tr><td>  運航の定時性への懸念</td><td>3件</td></tr> <tr><td>2.発着回数以外の空港能力の評価手法に関する意見</td><td>8件</td></tr> <tr><td>3.福岡空港の空港能力は現状のままで十分とする意見</td><td>7件</td></tr> <tr><td>4.海外の空港と比較し、福岡空港の処理容量が少ないとする意見</td><td>4件</td></tr> <tr><td>5.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見</td><td>2件</td></tr> <tr><td>6.その他</td><td>24件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>77件</td></tr> </table>	1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見	32件	空港能力の限界を肯定	25件	需給逼迫に伴う安全性への懸念	4件	運航の定時性への懸念	3件	2.発着回数以外の空港能力の評価手法に関する意見	8件	3.福岡空港の空港能力は現状のままで十分とする意見	7件	4.海外の空港と比較し、福岡空港の処理容量が少ないとする意見	4件	5.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見	2件	6.その他	24件	合計	77件	
	1.運航の定時性、需給逼迫に伴う安全性の懸念と能力の限界を肯定する意見		32件																					
	空港能力の限界を肯定		25件																					
	需給逼迫に伴う安全性への懸念		4件																					
	運航の定時性への懸念		3件																					
	2.発着回数以外の空港能力の評価手法に関する意見		8件																					
	3.福岡空港の空港能力は現状のままで十分とする意見		7件																					
	4.海外の空港と比較し、福岡空港の処理容量が少ないとする意見		4件																					
	5.ピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見		2件																					
	6.その他		24件																					
合計	77件																							
福岡空港の有効活用方策に関する意見	59 件	<p>平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見や、ターミナル施設の地下化や定期便以外の施設の移転を求める意見もありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr><td>1.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見</td><td>22件</td></tr> <tr><td>2.空港敷地の拡張やターミナルの地下化等大規模な改良の検討を求める意見</td><td>12件</td></tr> <tr><td>3.定期便以外の施設の移転を求める意見</td><td>11件</td></tr> <tr><td>4.現空港の有効活用方策は投資効果等から不必要とする意見</td><td>2件</td></tr> <tr><td>5.費用対効果を問う意見</td><td>2件</td></tr> <tr><td>6.その他</td><td>14件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>63件</td></tr> </table>	1.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見	22件	2.空港敷地の拡張やターミナルの地下化等大規模な改良の検討を求める意見	12件	3.定期便以外の施設の移転を求める意見	11件	4.現空港の有効活用方策は投資効果等から不必要とする意見	2件	5.費用対効果を問う意見	2件	6.その他	14件	合計	63件								
1.平行誘導路二重化等の有効活用方策の早期実現を求める意見		22件																						
2.空港敷地の拡張やターミナルの地下化等大規模な改良の検討を求める意見		12件																						
3.定期便以外の施設の移転を求める意見		11件																						
4.現空港の有効活用方策は投資効果等から不必要とする意見		2件																						
5.費用対効果を問う意見		2件																						
6.その他		14件																						
合計	63件																							
現空港の課題に関する意見 (周辺地域への騒音問題、建築物の高さ規制等の都市問題及び空港用地)	57 件	<p>航空機騒音が生活環境に与える影響の実態の公開、環境対策費と借地料を含めた空港収支の公開を求める意見がありました。また、騒音・安全への不安、土地利用の規制緩和を求める等市街地に存在する空港であることを問題として捉まえた意見もありました。</p> <p>(主な意見の構成)</p> <table border="1"> <tr><td>1.航空機騒音に関する意見</td><td>28件</td></tr> <tr><td>  生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見</td><td>12件</td></tr> <tr><td>  環境への配慮や環境対策の強化を求める意見</td><td>9件</td></tr> <tr><td>  騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見</td><td>7件</td></tr> <tr><td>2.高さ規制に関する意見</td><td>10件</td></tr> <tr><td>  高さ規制問題なし・景観上有利であるとする意見</td><td>6件</td></tr> <tr><td>  高さ規制の緩和を求める意見</td><td>4件</td></tr> <tr><td>3.空港用地に関する意見</td><td>12件</td></tr> <tr><td>  借地に関する疑問とその情報公開を求める意見</td><td>12件</td></tr> <tr><td>4.その他</td><td>32件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>80件</td></tr> </table>	1.航空機騒音に関する意見	28件	生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見	12件	環境への配慮や環境対策の強化を求める意見	9件	騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見	7件	2.高さ規制に関する意見	10件	高さ規制問題なし・景観上有利であるとする意見	6件	高さ規制の緩和を求める意見	4件	3.空港用地に関する意見	12件	借地に関する疑問とその情報公開を求める意見	12件	4.その他	32件	合計	80件
1.航空機騒音に関する意見		28件																						
生活環境に与える影響の実態の把握や公開を求める意見		12件																						
環境への配慮や環境対策の強化を求める意見		9件																						
騒音による生活環境への不安・不満を訴える意見		7件																						
2.高さ規制に関する意見	10件																							
高さ規制問題なし・景観上有利であるとする意見	6件																							
高さ規制の緩和を求める意見	4件																							
3.空港用地に関する意見	12件																							
借地に関する疑問とその情報公開を求める意見	12件																							
4.その他	32件																							
合計	80件																							
福岡空港の国際航空ネットワークに関する意見	37 件	<p>東アジア路線の充実やそれへの期待感への意見がありました。一方で今年秋のハワイ便の減便など、将来の路線転換を懸念する意見もありました。</p>																						
福岡空港の国内航空ネットワークに関する意見	32 件	<p>福岡空港が有する福岡都市圏と三大都市圏を結ぶ幹線の機能充実や地方路線の便数等のサービス向上など地域拠点空港としてのネットワーク強化を求める意見がありました。</p>																						
ステップ 2以降	現空港での滑走路増設や新空港に関する意見	128 件	<p>将来の需要増を前提として、現空港での滑走路増設の検討や、現空港の安全性に関する懸念等から新空港の必要性を求める意見がありました。一方で新空港の必要性に対する疑問の意見もありました。</p>																					
	福岡空港の将来像に関する意見	117 件	<p>今後の地域間交流や国際交流の視点からの空港の機能の強化を求める意見や、ハブ空港としての役割を求める意見がある一方、国際線や国内幹線路線の一部を他都市へ移転すべきとの意見もありました。</p>																					
	近隣空港との連携方策に関する意見	94 件	<p>佐賀空港の有効活用や、新北九州空港の開港による福岡空港の需給逼迫緩和を尋ねる意見がありました。</p>																					
	将来の航空需要予測に関する意見	60 件	<p>最近の福岡空港の航空旅客の需要の伸び悩みや我が国の人口減少下のなかでの将来航空需要への懸念がありました。さらに、新幹線等の開通に伴う航空需要の変化などの意見もありました。</p>																					
	その他	62 件																						
	合計	1,212 件																						

1 寄せられた意見を段落ごとに分割した意見の件数

2 1の意見の内容を考慮し主な意見ごとに分類した件数

件数と意見概要欄記載の件数は、1件で複数の項目に意見をしている場合が見られ合計は一致しない。

### 3. P I (ステップ1) 活動の分析

#### (1) P I 活動が実施計画の基本方針に則った適切なものであったか

P I (ステップ1) 実施計画と実施した活動は表 5のとおりです。P I 活動は実施計画に則って実施され、一部は要望に応じてさらに回数を増やすなどして柔軟に対応しました。また、下記の点から、P I 活動は適切なものであったと考えております。

##### i. 十分な周知広報の実施

- ・ 周知広報活動は、計画どおり実施し、特に、メディアを活用した広報では、大手メディアを網羅的に活用し、新聞については、5紙にのべ6回広告を掲載、ラジオについては、約5週間にわたり広告を放送するなど、広く周知するよう配慮しました。
- ・ その結果、約7,200人の方が福岡空港見学会、説明会、オープンハウス等のイベントに参加し、ホームページに9,000件強のアクセスがあるなど、多くの方々にご参加いただきました。

##### ii. 多様で適切なP I手法の選定

- ・ P I 活動は、計画どおり実施し、要望に応じて福岡空港見学会の追加開催、その他説明会の開催など柔軟に対応しました。
- ・ ご意見記入用紙での回答結果より、P I 活動に参加した人のうち「満足」「ほぼ満足」「普通」と回答した方が87%でした。
- ・ また、福岡空港の現状や課題について「余り知らなかった」「全く知らなかった」と回答した方々が4割を占めており、P I 活動を通じてこれらの方々新たに情報提供を実施できたと考えます。
- ・ なお、一部の活動に対して、その開催場所や周知方法の充実を求める意見も寄せられており、P I (ステップ2) 以降において検討していきたいと考えています。

##### iii. わかりやすい情報提供の実施

- ・ ご意見記入用紙での回答結果より、提供された情報は、「わかりやすかった」「普通」を答えた人が全体の8割強を占め、「わかりにくかった」と回答した人は約6%であり、わかりやすい情報提供であったと考えています。
- ・ また、P I レポートの内容について、「とても興味深かった」「興味深かった」と答えた方が全体の8割を超えており、皆さんの関心に答えることができたと考えています。
- ・ さらに、「福岡空港の現状と課題」及び「空港能力の見極め」について、「知りたい情報は概ね提供されている」と回答した方が、いずれも半数を超えており、適切な情報内容であったと考えています。
- ・ なお、「もっと知りたい情報がある」とのご意見・ご質問のうち、今回のP I (ステップ1) でお答えすべきご質問につきましては、今後、Q & Aを作成し、ホームページ上に掲載することとしております。

iv. 収集した意見とそれに対する考え方を公表

- ・ 意見記入用紙により寄せられたご意見や、説明会、懇談会等の活動でご発言いただいたご意見を集約し、ご意見に対するP I実施主体としての考え方をとりまとめ、10月14日に公表し、意見募集（パブリック・コメント）を10月27日まで実施しました。

v. 中立・公平なP Iの実施

- ・ P I実施計画を策定する際には、パブリック・コメント等意見募集を実施し、福岡空港調査P I有識者委員会の評価を踏まえ、中立・公平な実施計画を策定しました。
- ・ P I実施段階においては、中立・公平なP Iの実施となるよう、その活動の実施状況について、福岡空港調査P I有識者委員会委員に実施状況把握をしていただき、助言をいただきながら進めました。
- ・ 福岡空港調査P I有識者委員会委員の助言については、P I（ステップ1）の活動の中で対応可能な助言に対しては、ステップ1のP I活動の中で対応を実施しました。

vi. 適正な時間管理

- ・ P I（ステップ1）の活動は、P I実施計画（ステップ1）において、「一定期間に高い密度の情報提供等を集中的に実施することが必要であること等から、3ヶ月程度を目安」として実施することとしております。
- ・ P I（ステップ1）は、7月25日からP Iレポートの配布を開始し、8月中旬から約1ヶ月にわたって催しを集中実施するなど、概ね計画どおりに実施でき、適正に時間管理ができたものと考えております。

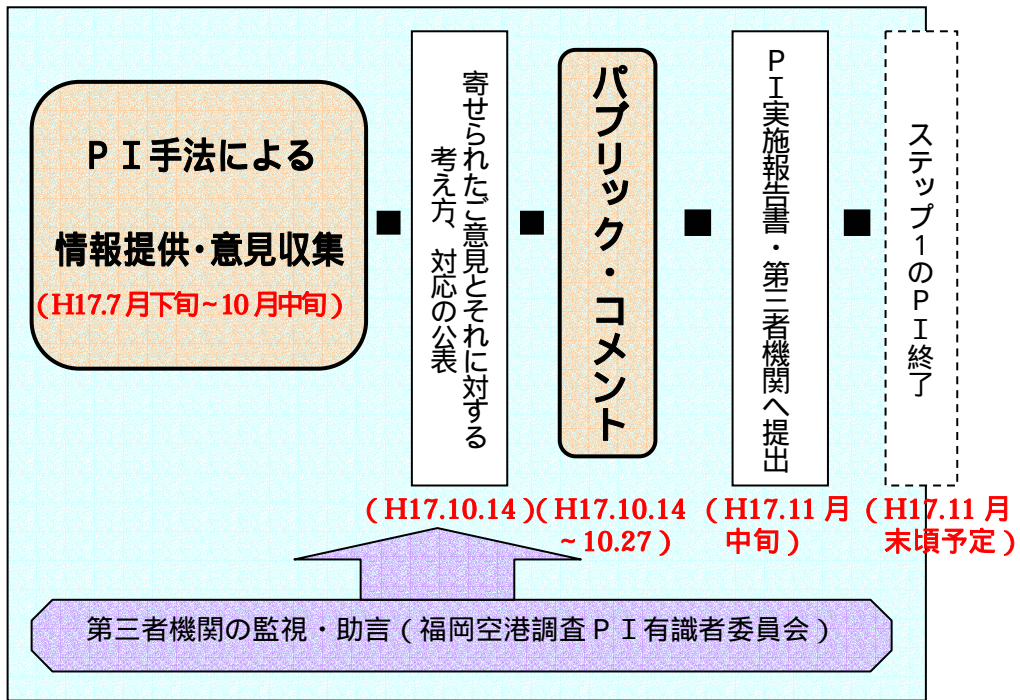


図 14 PIの進め方の実績

表 5 P I (ステップ1) 実施計画と実施内容の比較

PI (ステップ1) 実施計画		PI 参加者					実施内容				
		福岡県民 福岡市民 福岡空港の周 辺地域住民及び 関連自治体	空港利用者	県内地方自治 体	空港利用企 業、航空会社、 空港・航空関連 企業、地元経済 団体	福岡空港に関 心を有する国内 外の個人及び団 体	回数・箇所・ 機関等	内容	実施計画との比較		
周知・ 広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係行政機関の広報手段等各種メディアによる広報</li> <li>ホームページへの掲載</li> <li>報道機関への情報提供</li> </ul>							新聞広告 のべ6回  ラジオ広告 のべ78本  チラシ配布  ポスター配 布  行政だより 配布  ニュースレ ター配布	大手5紙、全5段広告 6/26～7/13 1回×5紙 5回 1紙、全5段広告 8/15  大手3局、20秒広告 7/20～8/23 1本/日×25日間×3局 75本 オープンスペース会場からライブ中継 8/19, 8/23, 8/26  ・県内20箇所(福岡空港および主要駅)街頭配布 ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布  県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布  福岡県だより2005年7月号(2005.7.1発行) ふくおか市政だより2005年7月号(2005.7.1発行)  福岡空港調査連絡調整会議ニュース 配布	計画どおりに実施した。	
	PIレポートの配布	PIレポートを配布するもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口等に設置</li> <li>説明会や見学会、オープンハウス、懇談会参加者への配布</li> <li>ホームページに掲載</li> </ul>					約3,000部	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフォメーションコーナー等への設置</li> <li>説明会や見学会、オープンハウス、懇談会参加者への配布</li> <li>ホームページに掲載</li> </ul>	計画どおりに実施した。	
	PIレポート概要版(パンフレット)の配布	PIレポート概要版(パンフレット)を配布するもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフォメーションコーナーや公共機関の情報窓口等に設置</li> <li>説明会や見学会、オープンハウス、懇談会参加者への配布</li> <li>ホームページに掲載</li> </ul>						約50,000部	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内20箇所(福岡空港および主要駅)街頭配布</li> <li>県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布</li> <li>説明会や見学会、オープンハウス、懇談会参加者への配布</li> <li>ホームページに掲載</li> </ul>	計画どおりに実施した。
	見学会の開催	空港の現状や利用状況等について現場を見学するもの。	福岡空港にて実施	-	-				5回(152人)	第1回(8/17) 第2回(8/21) 第3回(9/4) 第4回(9/5) 第5回(9/10)	計画どおりに実施した。
	インフォメーションコーナー	福岡空港PIの総合的な情報提供窓口。あわせて意見の収集も実施。	福岡県、福岡市の庁舎内、空港等：複数箇所検討	-	-				3箇所(4,828人)	福岡空港(8/17～) 福岡県庁(8/17～) 福岡市役所(8/17～)	計画どおりに実施した。
	HPへの情報掲載	PI実施主体のホームページに情報を掲載するもの。あわせて意見の収集も実施。	-						9,028アクセス	7/25～10/31	計画どおりに実施した。

P I (ステップ1) 実施計画								実施内容			
手法			P I 参加者					回数・箇所・機関等	内容	実施計画との比較	
			福岡県民 福岡市民 福岡空港の周 辺地域住民及び 関連自治体	空港利用者	県内地方自治 体	空港利用企 業、航空会社、 空港・航空関連 企業、地元経済 団体	福岡空港に関 心を有する国内 外の個人及び団 体				
意見 収集	説明会	P I レポートの内容につ いての説明会を開催し、意 見収集を行うもの。	福岡市、福岡地域、北九州地域、 筑後地域、筑豊地域にて開催			-	-		5回(235人)	あいれふ(8/18) イツカコミュニティセンター(8/22) 北九州国際会議場(8/29) コミセンわじろ(8/30) 石橋文化センター(9/14)	計画どおりに実施した。
	懇談会	P I レポートの内容につ いて懇談し意見収集を行 うもの。	空港利用企業、航空会社、空港・ 航空関連企業、地元経済団体、福 岡空港に関心を有する国内外の 個人及び団体との懇談会を開催			-	-		13回(227人)	交通事業者等(9/7 アクロス福岡) 航空関係事業者(9/8 空港ビル) 空港関連事業者(9/8 空港ビル) 利用企業等 第1回(9/9 あいれふ) 第2回(9/12 天神ビル) 第3回(9/12 天神ビル) 第4回(9/13 あいれふ) 周辺住民 第1回(9/14 地元集会所) 第2回(9/16 地元集会所) 第3回(9/17 地元集会所) 第4回(9/20 空港ビル) 福岡空港周辺自治体(9/9 あいれふ) 市民団体(9/10 アクロス福岡)	計画どおりに実施した。
	オープンハ ウス	P I レポートの内容につ いての展示や説明を行い、 意見収集を行うもの。	福岡市、福岡地域、北九州地域、 筑後地域、筑豊地域にて開催			-	-		5箇所 (2日/箇所) (1,629 人)	天神地下街(8/19~20) J R小倉駅(8/23~8/24) ダイヤモンドシティ・ルクール(8/26~8/27) 西鉄久留米駅(8/26~8/27) ジャスコ穂波店(9/2~9/3)	計画どおりに実施した。
	意見募集(バ ブリック・コ メント)	ホームページ等を用いて 意見を募るもの。	-						49人	10/14~10/27 に実施	計画どおりに実施した。
	経済団体そ の他個別説 明	(実施計画では未計画)								4回(150人)	9/2 福岡市内 9/13 福岡市内 9/15 福岡市内 9/15 福岡市内



## (2) 当初の目標が達成されたか

### 情報が市民等に十分に周知されたか

PI(ステップ1)において提供した情報が市民等に十分に周知されたかについて、下記の点から評価を行い、提供した情報は正しく伝わり「福岡空港の現状と課題」及び「空港能力の見極め」の内容について、概ね認知が得られたと考えております。

#### i. 提供した情報が正しく伝わったのか

- ・ 意見記入用紙による回答状況より、提供した情報について、「わかりやすかった」、「普通」と答えた方が全体の8割強を占めました。

#### ii. 「福岡空港の現状と課題」及び「空港能力の見極め」の内容が認知されているのか

- ・ 意見記入用紙による回答状況より、福岡空港の現状について、「余り知らなかった」「全く知らなかった」と回答した方が約4割を占めており、これらの方にPI活動を通じて新たな情報を提供することができました。
- ・ 「福岡空港の現状と課題」及び「空港能力の見極め」について、「知りたい情報は概ね提供されている」と回答した方がいずれも半数を超えております。なお、「もっと知りたい情報がある」とのご意見・ご質問のうち、今回のPI(ステップ1)でお答えすべきご質問につきましては、今後、Q&Aを作成し、ホームページ上に掲載することとしております。
- ・ 『「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る意見募集(パブリック・コメント)』で寄せられたご意見では、意見の集約結果やPI実施主体の考え方を理解していただいた上でのご意見を頂戴できたものと考えております。

市民等から幅広く意見が収集されているか

PI(ステップ1)の活動では、下記により幅広い市民等から意見が寄せられたと考えております。

i. 県民、市民、空港利用者、企業など、幅広い皆さんから収集されているか

- ・ 1,426人の方から3,115件のご意見をいただきました。
- ・ 意見を寄せた方の属性は、やや男性が多いものの、年代や空港利用頻度は、幅広い方からご意見が寄せられています。
- ・ また、職業についても、会社員から多く寄せられてはいるものの、自営業や専業主婦など幅広い方からご意見が寄せられています。
- ・ 居住地についても、福岡県が多いものの、関東地方を始め、日本全国からご意見が寄せられています。

ii. 意見に対するPI実施主体の考え方が正しく伝わったか

- ・ PI(ステップ1)においては、PIレポート(ステップ1)概要版の配布や見学会等により、市民等の皆さんに「福岡空港の現状と課題」及び「空港能力の見極め」について、情報提供を行い、説明会、懇談会、オープンハウス等の場におけるご意見に対しては、PI実施主体の考え方をその場で説明しました。
- ・ また、寄せられたご意見を集約し、ご意見に対するPI実施主体の考え方をとりまとめ、『「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る意見募集(パブリック・コメント)』を実施しました。
- ・ 意見募集(パブリック・コメント)では、49人の方からご意見が寄せられました。これを拝見したところ、PI実施主体の考え方を理解していただいた上でのご意見を頂戴できたものと考えております。
- ・ これらのことから、寄せられたご意見に対するPI実施主体の考え方については、正しく伝わったものと考えます。

参考：「福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1)に寄せられたご意見と考え方」に係る意見募集（パブリック・コメント）により寄せられたご意見

#### 意見募集実施概要

募集期間：平成17年10月14日（金）から平成17年10月27日（木）まで

意見の提出方法：郵送、電子メール、FAX

#### 寄せられたご意見の概要

ご意見を寄せられた方の人数：49人（意見数は56件）

##### 寄せられたご意見の概要

- ・ P Iについて、取り組みを評価する意見やわかりやすいといった意見が9件、もっと早く進めてほしいといった意見が4件、さらなる情報提供やわかりやすさを望む意見が3件ありました。
- ・ 空港の能力について、限界を感じるといった意見が5件、安全のために余裕も必要といった意見が3件ありました。
- ・ 安全性について、これが重要との意見や現状を懸念する意見が7件ありました。
- ・ 近隣空港との連携方策について、利便性を考えると難しいといった意見が4件ありました。
- ・ 現空港での滑走路増設について、これがよいという意見と騒音や安全の問題から難しいという意見がそれぞれ1件ずつありました。
- ・ 新空港について、安全や騒音問題等から必要とする意見が4件、建設コスト等の面から不要とする意見が2件ありました。
- ・ 以上の他、福岡中心地の高さ制限の緩和、需要予測の際の留意事項の提案などについての意見がありました。

### (3) まとめ

福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1)の活動は、P I実施計画(ステップ1)に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、わかりやすい情報の提供を実施し、収集したご意見とそれに対する考え方を公表してパブリック・コメントを行うなど、中立、公平、適正な時間管理のもと実施できたものと考えております。

また、情報が市民等に十分に周知され、市民等から幅広くご意見が収集されたと考えられることから、P I (ステップ1)の目標は達成できたものと考えます。

なお、寄せられたご意見の中には、「将来の航空需要予測に関する意見」や「近隣空港との連携方策に関する意見」などP I (ステップ2)以降の内容についてのご意見も多く見られました。P I (ステップ2)以降の実施に際しては、「福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」でお示ししたとおり、今回寄せられたご意見等も踏まえ、皆さんが参加しやすく、ご意見を寄せやすいよう、さらに工夫して参りたいと考えます。

平成17年11月29日

福岡空港調査連絡調整会議 御中

福岡空港調査P I有識者委員会  
委員長 石田東生福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）の実施結果  
に関する評価等について

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）の実施結果について、平成17年11月18日に当委員会を開催し、平成17年11月16日に提出された「福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）実施報告書」及び当委員会が行った実施状況把握に基づき、下記の通り評価及び助言を行うことを決定したので通知します。

## 記

## 1 評価

P I活動の実施については、P I実施計画（ステップ1）に則って、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、分かりやすい情報の提供を実施し、収集した意見とそれに対する考え方を公表してパブリック・コメントを行うなど、中立、公正、適正な時間管理のもと実施できたものと認められることから、適切なものであったと評価します。

また、情報が市民等に十分に提供され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられることから、P I（ステップ1）の当初の目標は達成されたと評価します。

## 2 助言

- 1) 周知広報について継続的な努力を行うこと。
- 2) 県外居住者や外国人などからも意見が収集できるよう検討すること。  
外国語による情報提供なども検討課題。
- 3) 女性や若年層に対する情報提供等についても検討すること。
- 4) 様々な意見の方が相互にコミュニケーションを図ることも大事であり、そのための方法について検討することが必要。また、説明会や懇談会において多様な意見が出るような議事進行等の工夫を行うこと。
- 5) 福岡空港について市民等に興味を持ってもらうような手法を検討すること。
- 6) 「意見とそれに対する考え方」について、効率的なP I実施という視点を踏まえながら、その着実な実施を検討すること。

## \* 添付資料

- ・ P I実施状況把握活動報告

## P I 実施状況把握活動報告

## ・実施状況把握の実績

日 時	場所	P I 活動の種類	参加委員
平成17年8月18日 19:00~21:00	あいれふ10階会議室	説明会 (福岡市内)	杉尾 政博
平成17年8月19日 13:00~13:10	天神地下街	オープンハウス (福岡市内)	土井良 延英
平成17年8月22日 19:00~20:30	イズカコミュニティセンター	説明会 (筑豊地区)	土井良 延英
平成17年8月26日 13:00~14:00	西鉄久留米駅2階 コンコースイベントスペース	オープンハウス (筑後地区)	杉尾 政博
平成17年8月29日 19:00~20:45	北九州国際会議場	説明会 (北九州地区)	竹林 幹雄
平成17年8月30日 19:00~21:15	コミセンわじろ5階	説明会 (福岡地区)	石田 東生・山本 智子
平成17年8月30日 16:00頃	福岡空港第2ターミナル	インフォメーションコーナー	石田 東生
平成17年9月 2日 17:00~17:30	福岡空港第2ターミナル	インフォメーションコーナー	山本 智子
平成17年9月 9日 10:00~12:00	あいれふ10階会議室	懇談会 (利用企業等)	杉尾 政博
平成17年9月10日 10:00~12:00	福岡空港	福岡空港見学会	石田 東生
平成17年9月10日 14:00~16:00	アクロス福岡6階 606会議室	懇談会 (市民団体)	石田 東生
平成17年9月12日 14:00~16:00	天神ビル	懇談会 (利用企業等)	竹林 幹雄
平成17年9月16日 19:30~21:30	地域集会所	懇談会(空港周辺 住民等)	山本 智子
平成17年9月17日 10:00~12:40	地域集会所	懇談会(空港周辺 住民等)	土井良延英
<p>&lt;実施状況把握の回数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明会 4回(参加委員5名:5回開催のうち4回に参加)</li> <li>・ オープンハウス 2回(参加委員2名:5ヶ所開催のうち2ヶ所に参加)</li> <li>・ インフォメーションコーナー 2回(参加委員2名:3ヶ所開催のうち1ヶ所に参加)</li> <li>・ 空港見学会 1回(参加委員1名:5回開催のうち1回に参加)</li> <li>・ 懇談会 5回(参加委員5名:13回開催のうち5回に参加)</li> </ul> <p>合 計 14回(参加委員のべ15名)</p>			

## ・実施状況レポート 別紙1~15のとおり

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
日時・場所	日時：平成17年8月18日 19時～ 21時 場所：あいれふ10階会議室
PI活動の種類	説明会（福岡市内）
訪問時の状況	市民等参加者61名 事務局従事者10名程度
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的な印象として、より幅広く市民を集める努力が必要である。</li> <li>・ 会場の設営については、会場となるビル1階に案内板などの誘導があった方がわかりやすい。</li> <li>・ 説明者は、中央で立って説明をした方が大型スクリーンの映像を生かすことができる。</li> <li>・ 質疑の進め方について、できるだけ多くの市民が発言できるよう、一人あたりの発言時間を絞るなどの工夫が必要。 また、発言の内容が幅広くなりすぎないように、「」についての意見はありませんか」など、テーマごとに論点を整理するなどの工夫が必要。</li> <li>・ 質疑の内容について、論議がステップ1のテーマにそったものになるよう、ステップ2以降の内容にかかるものについては、ステップ2以降のPIで取り扱うことを明確に説明する必要がある。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	日時：平成17年 8 月 19 日 13時～13時10分 場所：天神地下街
PI活動の種類	オープンハウス(福岡市内)
訪問時の状況	市民等参加者 1名程度 事務局従事者 4名程度 まずまず人通りがある場所であるが、あまり目立たず、「空港」という文字に特に興味を持たない人には何を展示しているか分かりにくい。
所見 (アドバイス等)	「福岡空港」にあまり関心がない一般の人からも意見を聴取するのであれば、幟を立てるか、通行者にアンケートを配る等をして、積極的に引き込むような工夫が必要と思われる。 多少は「福岡空港」に興味がある人を対象とするにしても、もう少し何を行っているかが分かるようにすべきである。



福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	<p>日時：平成17年 8 月 22 日          19時～20時30分</p> <p>場所：イイツカコミュニティセンター</p>
PI活動の種類	説明会（筑豊地区）
訪問時の状況	<p>市民等参加者 20名          事務局従事者 15名程度（事務局代表説明者5名、司会者1名を含む）</p> <p>・100名程度収容できる会場であったので、やや閑散とした感じ。</p>
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場の設営については、福岡市での説明会の反省もあって、会場への案内板の設置、係りの誘導等、適切に行われていた。</li> <li>・ 当日、事前に商店街等で説明会実施の案内とパンフレットの配布を行った割には参加者が少なく、しかも参加者は40歳代から50歳代の男性ばかりであった。福岡空港に対する地域住民の関心度にもよると思われるが、曜日、時間等については再考の余地がありそうである。</li> <li>・ 質問等を聞いていると、参加者のPIのステップの理解が必ずしも十分ではないように思われた。もう少しステップ1の説明会であることを強調した方がよいと思われる。</li> <li>・ 質問や意見がそれほど多くないところでは、差し支えない範囲で他の会場での質問や予想される質問を紹介して、論点を明らかにする工夫があってもよいと思われる。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
日時・場所	日時：平成17年8月26日 13時 ~ 14時
	場所：西鉄久留米駅 2階コンコース イベントスペース
PI活動の種類	オープンハウス(筑後地区)
訪問時の状況	市民等参加者 数名程度 事務局従事者 5名程度
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総論として、オープンハウスの実施においては、場所の選定、展示物など、どうすれば多くの人が集まり、所期の目的を達成できるか十分検討する必要がある。</li> <li>・ 場所の選定については、事前に人の流れをチェックし、人の集まりやすい場所を選ぶ必要がある。</li> <li>・ 集客については、オープンハウス内において市民の関心を呼ぶようなイベントを開催するなどの工夫が必要である。</li> <li>・ 展示内容については、パネルのデザイン、パネル以外の展示物など集客を考えた工夫が必要である。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄
日時・場所	日時：平成17年 8月 29日 19時～20時45分
	場所：北九州国際会議場
PI活動の種類	説明会(北九州地区)
訪問時の状況	<p>市民等参加者 45名 事務局従事者 10～15名(事務局代表説明者4名、司会者1名を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最初はあまり多くなかった(30名程度)が、開始後30分程度の間にとっと増えた。</li> <li>・ 場所が駅から遠かった。地元民以外にはわかりにくい場所だった。</li> <li>・ 女性が5名程度参加されていた。20代と思われる若い人も3～5名ほど参加されていたし、聴衆の比較的年代層は広いのではと思われた。</li> </ul>
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャパシティー一杯であった。少々手狭。逆に想像以上に(?)多くの方が参加されたのは成功といえる。</li> <li>・ 会場の案内はもう少しわかりやすくした方がよい。受付前の説明パネルも「ただ掲示されている」観が強く、積極的に見るには辛い。</li> <li>・ 質問が8つほど出たが、説明によって「福岡空港の問題」がどのような認識をされるのか、がよくわかったのではないかと少なくとも地域によって相当認識パターンに差があることは理解できたと思う(事務局にとっても、参加者にとっても)。</li> <li>・ 「何が問題なのか」を皆で考えるのがPIのステップ1なので、「現状で問題ないのでは？」と素直に意見される人の認識はかなり参考になると思われる。「現在」と「将来」とに問題を整理することも一案。</li> <li>・ 質問に対する回答が回りくどい印象を受けた。技術的な質問でなくても簡潔に受け答えされるよう工夫されることを望む。説明の際には難しい・一般的ではない術語(特に外来語の類)は避けた方がよいと思う。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員長 石田 東生
日時・場所	日時：平成17年 8 月 30 日 19時～21時15分
	場所：コミセンわじろ5階
PI活動の種類	説明会(福岡地区)
訪問時の状況	市民等参加者 67名 事務局従事者 15名程度
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの人(全部で延べ12名)が、多様な意見を発言できたことは良かった。司会の努力もあろうが、発言者の自己規律がよく働いていて、短時間に発言する努力をしていただいているようであった。</li> <li>・ ただ、質疑応答を含めて20分近くマイクを独占されていた方もいたこと、他人の発言中に「やめろ」等のヤジが飛んだこともあったことなどを考えると、今後は、意見交換をさらに幅広くし、より多くの方が自由に発言できるような環境整備(意見交換等についての一般的原則：例えば、発言時間はできるだけ短く、他人の発言中の野次や談笑の自粛、など)についての工夫が必要かと思われる。</li> <li>・ PI資料の作成方法についても、重要かつ参考となる意見があったので、今後の参考にするべきである。</li> <li>・ 有識者委員会の中立性の確保と検証の方法についての意見があった。第1回の有識者委員会では、委員会はプライバシー保護等の明確な理由がある以外はすべて公開で実施することが中立性と第三者性を獲得する上での前提条件であること、そしてその中で委員自らが中立性と専門性をもって考え、発言し、活動することを積み重ねることが社会的に受容されるためには決定的であることを議論し、確認したが、このことの重要性を再確認することになった。今後とも心して監視・助言を続けていきたい。</li> </ul>

- P Iはまだ始まったばかりなので、徐々に連続的に改善していくという考え方が重要である。
- 次の二つは、説明会の具体的な改良についての提案である。
  - \* 会場の都合もあったのですが、説明要員が2列に並んでいたため、特に後列の方の所属が不明であった。また、所属が書いてあるだけで氏名が不明であったこと、所属も活字が小さくよく見えなかったことなどが指摘できる。顔の見えるP Iが重要なので、氏名を含めて大きく書くこと、及び、説明者紹介の折りにP P Tに所属と氏名を映写することなどを試みられるのはいかがでしょうか。
  - \* P Iレポートの説明用のスクリーンによる表示のフォントが小さく、よく見えなかったことがたびたびあった。手元にレポートがあるのでそれを見てくださいということなのであるが、今後は更なる工夫が必要かもしれない。

福岡空港の総合的な調査に係る  
P I活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査P I有識者委員会委員 山本智子
日時・場所	日時：平成17年8月30日 19時～21時
	場所：コミセンわじろ5階
P I活動の種類	説明会(福岡地区)
訪問時の状況	<p>市民等参加者 67名 事務局従事者 15名程度</p> <p>年齢の高い層が多く、女性が少なかった。 参加者と事務局とが気軽に話せる雰囲気がないようだった。</p>
所見 (アドバイス等)	<p>(所見)</p> <p>参加者からの質問・意見はかなりパンフレットを読んでいるようであり、P Iにかなりの関心はあるようだった。 但し、ステップごとに問題を切り分けるということについては、かなり理解が困難である。 次のステップまで踏み込んだ質問・意見が多かった。</p> <p>(助言)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進行上、まず発言者に時間制限(5分程度)を行い、多くの参加者に発言の機会を設ける必要がある。</li> <li>2. 会場での私語・発言者へのヤジ等のマナー違反は注意すべきである。</li> <li>3. 有識者委員会に関する質問もあったので、HPを含め全面的に情報公開されている事実を説明して欲しい。</li> <li>4. 参加者の人数・年齢層がもっと多種多様となるように公報の方法を考える必要がある。HPはほとんど閲覧されてないように感じた。</li> </ol>

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員長 石田 東生
日時・場所	日時：平成17年 8月 30日 16時頃 場所：福岡空港
PI活動の種類	インフォメーション・コーナー（福岡空港）
訪問時の状況	市民等参加者：3名程度 事務局従事者：1名
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示内容はよく練られていて良かったし、係員の対応も良いと思いました。</li> <li>・ただ、パネルの充実を重視したためか活字が小さく、コーナーの外からは内容が良く分からないというように思いました。関連するパネルの上部にテーマを大きなフォントで示すなどの工夫はいかがでしょうか。</li> <li>・空港ターミナル内のコーナーは立地条件がよいと思いましたが、人の動線を考えた場合に特別待合い室側の壁面が全く使用されていないのはもったいないと思いました。大きなフォントで、PIのインフォメーションコーナーであること、皆で情報共有と議論をして調査を進めていく予定であること、などを雰囲気壊さないようにデザインに配慮して、掲示した方がよいのではないのでしょうか。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本智子
日時・場所	日時：平成17年9月2日 17時～17時30分
	場所：福岡空港・第2ターミナル
PI活動の種類	インフォメーションコーナー
訪問時の状況	<p>市民等参加者 3名程度  事務局従事者 1名程度</p> <p>展示スペースが目立たない場所にあり、照明も暗かった。  利用者が通過する場所で、足をとめにくい。  スタッフは1名でしたが、説明は的確でした。</p>
所見 (アドバイス等)	<p>(所見)  場所的にハンディのある所ながら、スタッフが積極的に足を止める利用者に声をかけて説明をしていた。  「福岡空港は新空港に決まったのでは？」  「PIって何？」  「誰が実施しているのか？」等質問してみたところ適切な説明をもらえました。</p> <p>(アドバイス)  ・ インフォメーションコーナーは最も継続されるPI活動であり、照明を明るくする、机や椅子を設置して資料を座って読める、等の工夫が必要。  ・ 空港や駅などは通過場所となって、利用者が足を止めにくいのではないかと。  ・ 女性スタッフを配置した方が、女性や若年層が質問しやすいと思う。</p>



福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 杉尾 政博
日時・場所	日時：平成17年9月9日 10時～ 12時
	場所：あいれふ 10階会議室
PI活動の種類	懇談会
訪問時の状況	市民等参加者 10名 事務局従事者 説明者6名、他に5名程度
所見 (アドバイス等)	<p>総論としては、熱心に質疑がされており、良かった。</p> <p>各論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会の冒頭に、会議(懇談会)の目的や役割をきちりと説明したほうがよい。また、その会の出席者がどのような立場で呼ばれているのか、どのような人の懇談会であるのかを説明した方がよい。</li> <li>・ 会の運営方法で、質問と感想を分けて聞いた方がよい。「...の問題について意見はありませんか」とか「...の問題についての感想はありませんか」とか具体的に聞いた方が意見が出やすいのではないか。「何かありませんか」という漠然とした訊き方では、意見の出方がバラバラになり、出席者相互の議論が深まらない。</li> <li>・ スライドの内容に、もっと動画を活用した方がよりわかりやすくなる。静止画像より動画の方が、聞く側からすると理解が深まりやすい。今回の懇談会の説明においては、8月18日の説明会の際にはなかった、空港における飛行機の走行を示す動画が加わっていたが、その部分はわかりやすくなった。</li> <li>・ 8月18日の説明会の際に指摘した、ビル1階における誘導については、今回は誘導員が配置されており改善が見られた。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生
日時・場所	日時：平成 17 年 9 月 10 日 10時～12時
	場所：福岡空港
PI活動の種類	福岡空港見学会
訪問時の状況	市民等参加者 29名 事務局従事者 10～15名
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学会は空港の現状と課題を体感し、理解していただく上で意義の大きい試みである。</li> <li>・ 参加者には、子供連れやカップルも見られ福岡空港をめぐる議論の裾野を広げる上での効果も期待できよう。</li> <li>・ 当初の3回を、希望者が多いということで5回に増加させたが、このような柔軟な対応も良かったと考える。</li> <li>・ 議論を広めるためにも、今後ともこのような機会を確保すべきだと考える。</li> <li>・ 立ち入り制限区域への立ち入りもあり、参加者の引率や、行程管理という面からは、機会や回数の増加は難しい面もあると思われるが、回数増加や今後の継続的实施のための工夫が望まれる。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生
日時・場所	日時：平成 17 年 9 月 10 日 14時～16時
	場所：アクロス福岡 6階606会議室
PI活動の種類	懇談会（市民団体）
訪問時の状況	市民等参加者 10団体、21名 事務局従事者 10～15名
所見 （アドバイス等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な立場の方々が参加され、多様な意見やコメント、新しい視点の交換が効果的になされていた点が高く評価できる。説明会における行政側と市民側の2者対立的な構図とは異なり、市民相互を含めた多方向のコミュニケーションが成立する雰囲気を感じられた。多様なPI手法を同時並行的に実施することの重要性が再確認されたと思う。</li> <li>・ 参加者の発言時間も比較的短く、多数の方が発言できたことは良かった。司会と参加された方にそれぞれ敬意を表したい。</li> <li>・ 今後のステップにおいては懇談会参加者の輪を広げる努力が必要であろう。そのためにも、懇談会における議論、雰囲気、参加者の広がり、いただいた意見の総合的調査への反映結果等についての、積極的な広報が重要であろう。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 竹林 幹雄
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成17年 9 月 12 日 14時00分～16時00分
	場所：天神ビル
PI活動の種類	懇談会（利用企業等）
訪問時の状況	<p>市民等参加者 20名程度  事務局従事者 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福岡の地元経済界の方々の参加であり、かなり実務的な色彩が強かった。</li> <li>・ 女性の参加はなく、比較的年配の方々に構成されていた。</li> </ul>
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問が10以上出た。「現空港の機能向上」「周辺サービスの向上」についての質問が多かったため、もう少し現状の問題点を空港だけに限らず、周辺サービスがどのように変化しているのか、今後どのようになるのかなど、空港整備の付加的な要素についてもさらに説明することが望まれる。</li> <li>・ 今回は説明を聞かれる方々が経済界ということもあり、要点を絞って説明・質問に対する回答も比較的簡潔という印象であった。</li> <li>・ やはり「現空港での問題」(現状維持を行うと出てくる問題)の認識が調査側の認識とかなりずれている。この「現状維持を行うと出てくる問題」についてさらに詳しく説明する必要がある。</li> <li>・ 「空港が混んでいる」点をビデオを使って説明しているが、前回も少し感じたが、どうも今ひとつ実感がわからない。おそらくアングルの問題であろうが、「混んでいると不便である」ことを伝えるのであれば、もう少し工夫した方がよい。特に実業の方々からすると混んでいることによる不利益は相当大きいはずであり、そのあたりを理解していただくことは重要である。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
**PI活動(ステップ1)の実施状況レポート**

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 山本智子
日時・場所	日時：平成17年9月16日 19時30分～21時30分
	場所：地域集会所
PI活動の種類	懇談会（空港周辺住民等）
訪問時の状況	市民等参加者28名 事務局従事者17名程度 地域住民の懇談会であり、会場は遅刻者もなく資料の配付等もスムーズで、定刻開始で行われた。
所見 (アドバイス等)	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民という利害関係者の立場から、簡易パンフレットに記載された環境対策費の公開に対し、表現が誤解を招くという趣旨の意見が出ていた。詳細資料との対比の説明が事務局からあったが、その場での説明では理解しにくいと思う。</li> <li>・ アンケートやこの懇談会の参加者の意見が、どのように反映されるのか、形式的にこのような会合が設定されているだけでないか等の意見がかなりあり、各ステップでのPI活動で得られた意見に対する対応は具体的に行う必要性を強く感じた。</li> <li>・ 参加者が具体的な利害関係者であることから、意見と質問が混在しがちであり、司会者が各質問毎に発言のポイントを整理してから回答することが必要である。</li> </ul> <p>アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者概要があらかじめ予測される懇談会では、事前に資料を配付しておく配慮がスムーズな進行のためにも良いと考える。</li> </ul>

福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ1)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査PI有識者委員会委員 土井良 延英
日時・場所	日時：平成17年 9 月 17 日 10時～12時40分 場所：地域集会所
PI活動の種類	懇談会（空港周辺住民等）
訪問時の状況	参加者 25名 事務局従事者 説明者5名、その他10名強 参加者とは事前に連絡が取られていたこともあり、予定時間までに遅れるとの連絡があった1名を除きすべて席に着き、定刻2分前に懇談会が開始された。 利害関係者との懇談会であり、PIレポートについては要点の説明に止め、主に質疑と参加者側の意見、主張に多くの時間が割かれた。
所見 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PI及びPIの各ステップの説明は適切に行われた。</li> <li>・ 参加者側より、PIの実施に関して出された以下のような意見については、今後考慮すべきと思われる。 雁ノ巣云々という市長の一連の発言は、PIの実施において誤解を与える可能性がある。 今回のPIレポートは福岡空港のよい面よりも問題となる面を強調するなど、レポート自体が偏っている印象を与える。 環境対策費、用地賃借料の費用側だけが記載されているが、収支で説明すべき。</li> <li>・ PIレポート記載事項に関する質問については、的確に答えることが必要である。答えられない点については、その後の対応を明確に伝える。</li> <li>・ 懇談会であるのに交渉の場に近い意見が出されていたが、懇談会の趣旨を明確にし、PIとして意義ある意見は取りまとめて公表することを明確に伝えて、進行を図るようにする。</li> <li>・ PIの趣旨にそぐわないような意見、主張は制止することも必要である。</li> </ul>

## 福岡空港の総合的な調査 平成18年度の調査の概要(案)

### (1) 将来需要への対応策の検討

#### 将来の航空需要の予測

平成17年度までに開発した地域特性等を考慮した航空需要予測の手法を用いて、近隣空港との連携方策、現空港における滑走路増設及び新空港の検討に合わせ、将来の航空需要の予測を実施する。

- ・ 地域特性等を考慮した航空需要予測の実施（国）

#### 近隣空港との連携方策の検討

平成17年度までに整理した福岡空港と近隣空港との連携に向けた基本的な考え方を踏まえ、その連携方策のあり方をとりまとめる。

- ・ 近隣空港との連携方策の検討（国・地域）

#### 現空港における滑走路増設の検討

平成17年度までに整理した将来の航空需要の予測、地域と福岡空港の将来像を踏まえ、滑走路増設に係る空港の計画要件に基づき、引き続き、現空港における滑走路増設の検討及び滑走路増設に伴う影響と効果の検討を行う。

- ・ 現空港における滑走路増設の検討（国）
- ・ 滑走路増設に伴う影響と効果の検討（地域）

## 新空港の検討

平成17年度までに整理した将来の航空需要の予測、地域と福岡空港の将来像を踏まえ、引き続き、空港の計画要件、空港立地の考え方に基づき、新空港の検討を行う。併せて、現空港用地の開発計画のあり方も検討する。

- ・新空港の検討（国・地域）
- ・現空港用地の開発計画の検討（地域）

## (2)とりまとめ

将来需要への対応方策を評価するため、対応方策を評価する視点の検討、評価の視点に基づく対応案の比較評価及び方向性（案）の作成を行う。（国・地域）



## 福岡空港の総合的な調査

区分	国	地域
滑走路増設をしない場合の現空港の能力の見極め	航空利用者の視点に立った航空サービスの評価基準の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港能力の考え方の整理</li> <li>・航空サービスに係る指標及び評価方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空サービスの現状及び利用者ニーズの把握( )</li> </ul>
	現空港の有効活用方策の検討	
将来需要への対応方策の検討	地域から見た福岡空港の役割と効果に関する検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地域拠点空港の役割と効果の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空の利用特性の把握( )</li> <li>・空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討</li> </ul>
	将来の航空需要の予測	
将来需要への対応方策の検討	近隣空港との連携方策の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空需要の分析</li> <li>・地域特性等を考慮した航空需要予測手法の開発と実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空利用者等の現状・動向等地域特性の整理( を活用)</li> </ul>
	現空港における滑走路増設の検討	
将来需要への対応方策の検討	新空港の検討	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設に係る空港の計画要件の検討</li> <li>・現空港における滑走路増設の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路増設の資料収集・整理</li> <li>・滑走路増設に伴う影響と効果の検討</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港立地の考え方の整理</li> <li>・新空港に係る基礎検討</li> <li>・現空港用地の開発計画の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港立地の考え方の整理</li> <li>・新空港に係る基礎検討</li> <li>・現空港用地の開発計画の検討</li> </ul>
とりまとめ		~